

国立大学法人
東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

概 要 2013
OVERVIEW

知と癒しの匠を創造する

知と癒しの匠を創造する

Cultivating Professionals with Knowledge and Humanity

患者や家族の方から「ありがとう」のひと言がいただける。

「あなたでよかった」と笑顔を投げかけていただける。

そのために、高度な医療の知識と卓越した技術を身につけます。

ひとの苦しみや悲しみを受けとめ、思いやれるところと倫理観を持ちます。

本学に学び、教育・研究・診療に携わるすべての人が、

「知と癒しの匠」への道を歩みつづけられるよう支えます。

これが、東京医科歯科大学の掲げるミッションです。

教育理念

幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養

自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

国際性豊かな医療人の養成

東京医科歯科大学 シンボルマーク

この図は本学のシンボルマークであり、
これには次のような意味が含まれてお
ります。



1. 東京医科歯科大学の発展の歴史と、その将来へのあるべき姿を、
本学の所在地、湯島にちなんで、湯島天神―学問の神―の象徴で
ある梅の花になぞらえて図案化したものです。
2. 花の芯に当たる中央の輪は、旧東京高等歯科医学校の校章であり、
これを基盤として現在の本学があることを示しております。
3. 5枚の花弁は、医学部、歯学部、教養部、生体材料工学研究所、
難治疾患研究所の5部局を表し、それらが、がっちりとスクラムを
組んで花を咲かせているという本学の姿を表現しています。
4. 5枚の花弁は、将来に向かって無限に躍進するという意図を表す
ために花弁の外側を肉厚にし、これによって躍動的な感覚を盛り
込んでおります。

東京医科歯科大学ロゴマーク



本学の欧文表記TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITYの
頭文字をとったTMDUを図案化し、これを本学のロゴマークとします。
これには次のような意味が含まれております。

1. 「M」と「D」をつなげることで、医学と歯学の融合を表現しています。
2. 太いラインは“自信”や“強さ”を表し、本学の伝統を表現しています。



国立大学法人
東京医科歯科大学

学長からのメッセージ02

沿革・組織

沿革、歴代校長及び学長04

運営組織等06

教育研究組織等08

大学院・学部等

大学院医歯学総合研究科10

大学院保健衛生学研究科12

大学院生命情報科学教育部13

医学部13

歯学部14

教養部15

生体材料工学研究所16

難治疾患研究所17

図書館情報メディア機構18

学生支援・保健管理機構19

研究・産学連携推進機構20

医学部附属病院 / 歯学部附属病院21

全国共同利用施設 / 学内共同教育研究施設24

その他の施設等25

特色ある教育・研究

教育関係プログラム26

研究関係プログラム27

その他のプログラム29

国際交流

ガーナ・野口記念医学研究所共同研究センター30

チリ国における東京医科歯科大学
ラテンアメリカ共同研究拠点の活動31

チュラロンコーン大学
――東京医科歯科大学研究教育協力センター31

パートナーズ・ヘルスケア・
インターナショナルとの医学教育提携32

インベリアルカレッジとの交換留学プログラム33

国際サマープログラム34

海外研修奨励制度35

大学院学生研究奨励賞、自由選択学習
(プロジェクトセメスター)を利用した海外留学35

国際交流協定 / 学部等協定36

外国人留学生在籍者数37

統 計

職員数38

学生数(大学院)39

学生数(学部)40

学位授与数41

附属教育施設41

平成25年度科学研究費助成事業採択状況42

受託研究費等受入状況42

平成25年度厚生労働科学研究費補助金採択状況42

寄附講座・寄附研究部門43

平成25年度収入・支出予算43

キャンパス概要

キャンパス概要44

土地・建物及び所在地、関係施設位置図46

「知と癒しの匠を創造する」

東京医科歯科大学は、医歯学総合研究科と保健衛生学研究科の2つの大学院組織、医学部医学科と医学部保健衛生学科、歯学部歯学科、歯学部口腔保健学科の4つの学部学科組織、医学部附属病院と歯学部附属病院の2つの附属病院、教養教育を担う教養部、および生体材料工学研究所と難治疾患研究所の2つの附置研究所を擁する日本唯一の医療系総合大学院大学です。

本学が目指す人材養成に当たって、そこに求める人間像は未知なるものへのチャレンジ精神を持ち、真理の探究に努力を惜しまぬ科学者像です。しかも、その「科学」は「人が生きる」上で役に立つものでなければなりません。そして、その中で遭遇するあらゆる事象に対する好奇心、それに加えて価値観の多様性を尊重する幅広い心を持つ人間像を期待しております。

そこで、本学のミッションを「知と癒しの匠を創造する」としました。「知」とは知識と技術とからなり、それは医療の



機軸であり、「癒し」とは教養と感性とからなり、それはまた医療の潤滑油となります。そして、これらが融合するところに「匠」への道が拓かれると、ここにミッションの目標を明示しました。

本学では三つの教育理念を掲げています。

幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養

論語に『君子は、器ならず』とあります。ここで言う「器」とは特定の目的に使用される道具です。君子たるものは、単なる専門家であってはいけないということです。「君子」とは学者、そして聖人を意味しますが、あらゆる多様性に対応できる幅広い知識と豊かな感性が必要だということでしょう。これこそあらゆる事象を理解し、多様性を許容する医療人たる資質であり、ここでいう単なる「器」に留まることは許されません。

また『一言にして以て身を終うるまでこれを行うべき者ありや』『それ恕か、己の欲せざる所を人に施すこと勿かれ』とのやり取りがあります。孔子の弟子が「生涯守るもので一つを挙げるとしたら、それは何でしょうか」と尋ねたところ、「それは恕。自分にして欲しくないことは、人にしてはならない」と答えています。さらに曾子は『夫子の道は、忠恕のみ』と、「老師の人生は忠（まごころ）と恕（思いやり）、それに尽きます」と言い添えています。「忠」とは、自分の良心に忠実なこと。

しかし、それだけでは他人に通用しない。そこで「恕」すなわち他人の身になって考える知的な同情、単なる優しさ、憐みではなく、幅広い教養に根づいた同情を併せ持つことが大切だと注釈しています。「忠」と「恕」とが一体となったところで、はじめて論語で言わんとする「仁」に近づくことが出来、そうしてはじめて医療人たり得ると言えます。

私たち、医療の現場では、当然最善を尽くします。そこにはある達成感があります。しかし、それだけでは自己満足に止まっているとしか云えません。「最善を尽くしました」では済まされないのが医療の現場です。医療現場での達成感とは、患者さんあるいはご家族の方々が「生きる喜び」を取り戻した姿、感動に接してはじめて得られるものです。

そうした境地に達するには、病める人を目の前にした私たちが、先ず患者さんの痛みを理解し、なお且つ患者さんを取り巻く様々な状況、家族環境や仕事環境、生活価値観等の情報を共有できるようでなければなりません。

それには、教養教育を通じて、幅広い知識や思考法などを獲得し、豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を磨き上げておかなければなりません。

自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

漢方医が薬を入れておく、小引き出しが数多くある筆筒を百味筆筒あるいは薬味筆筒と云います。学生諸君は学生時代に習得した知識や技術を、その都度自ら小引き出しを作って、自身の百味筆筒に整理、収納してゆかなければなりません。そして臨床や研究に当たって、自らの判断で、時にはいくつかの引き出しを開け、知識と技術の組み合わせを展開してゆくことになります。知識を通して技術を体得し、その技術を通してまた新たな知識を感得します。時には詰め替えることもあるでしょう。あるいはまた、新たに小引出しを作る必要があるかもしれません。私たちには、そんな繰り返しが生涯続くことになります。

的確な問題発見ができるのは、十分な知識と技術を身につけてこそ出来ることであり、さらに適切な問題解決へと歩を進めるには、十分な知識と技術の外に確たる思考法を修得していなければなりません。カントの批判哲学『知識は経験と共に はじまるが、思惟がなければ盲目となる』にも通ずる孔子の発想ですが、『学びて思わざれば則ち罔く、思いて学ざれば則ち殆う』とあります。これは、知識や情報を沢山得て、どれだけ習っていても自分で考えてみないことには、自分の人生でどう生かせばよいのか分からない。逆に、先人の知識を無視し、自分個人の思案だけに頼ると独善的になり過ぎ、これまた生きた智慧には繋がらないと言っています。確たる思考法に基づく思惟があってこそ、はじめて適切な問題解決が可能となるのです。

本学学生は、大学とは教えてくれるところではない、勉強する方法を教えてくれるところであると認識しておかなければなりません。教養科目、専門科目のいずれにおいても決して蔑ろにすることなく、自ら学んで自らに問いかける姿勢が求められます。これが将来一流の医療人、リーダーとして自律してゆく道程となります。「学ぶ」と「思惟」は一对です。

自分自身を磨こう

『学んで時に之を習う、亦説ばしからずや。有朋、遠きより方び来る、亦説ばしからずや。人知らずして慍らず、亦君子ならずや』

書物や師匠について学び、そして反復練習実践していくと自ずとわが身に体得されていきます。自分で出来ることを知る、あるいは疑問を抱き、そこに新たな真実を見出すこともあります。それは何と楽しいことか。学問とはそういうものです。そうやって修養・研鑽を積むと共感者、同志が遠いところからでも慕い尋ねてきてくれます。これは感動するほどにうれしいことです。そこで議論し、真実を確信し、時には全く新しい真実に気付くかもしれません。これは何と楽しいこ

国際性豊かな医療人の養成

本学は、臨床面、研究面における国際社会のリーダーとして活躍できる医療人、研究者の養成を目指しています。「よい国際人になるには、まず、立派な自国民になりなさい」ということばを思い出します。「自国知ってこそ真の国際人*」たり得るのであり、先ずは、自分が生を受け、自分が育った日本の文化や伝統を身につけた日本人であるべきで、次いで、アメリカなり、フランスなりの文化や習慣を深く理解することなどでなければなりません。そうした複眼思考ができるということが真の国際人と云えましょう。異国の文化に触れることができる様々な海外研修研究奨励制度を本学では準備しています。

まず、医学部、歯学部全ての学生に、学科、専攻によって配分員数に違いはありますが、海外短期派遣制度に沿って、総勢14名の学生がそれぞれの希望によって様々な国に派遣されました。別途、本学の3つの海外研究拠点：ガーナ・野口記念医学研究所共同教育センター、東京医科歯科大学・ラテンアメリカ共同研究拠点（チリ）、チュロンコン大学・東京医科歯科大学研究教育協力センター（タイ）に医学科の学生（13名）を研究体験で派遣しました。

また、医学部医学科6年生（10名）をハーバード大学での臨床実習体験に、また医学科4年生（4名）をインペリアル大学に研究体験で派遣しました。インペリアル大学からは5名の学生を受け入れました。

大学院生についても、別途海外研究奨励制度を立ち上げ、平成24年度は7名が利用しました。

本学は、このように海外研修・研究支援制度を以って、学生や若手・中堅研究者に対して留学研修・研究を積極的に推奨しています。

とか。そこに至って、はじめて『人知らずして慍らず』という境地に到達します。世の中の人が自分の修得したものを認めてくれなくとも、これを怨まず、咎めず、平然として世に処することができるであろうと締め括っております。

これこそ立派な研究者、医療人ではないでしょうか。他人がどう思おうが、自分の信念に従い、すべきことを遣り通すだけの気概を持たねばなりません。

本学学生には、ぜひ「知：知識と技術」という機系に「癒し：感性と教養」という横糸を織り込み、「自分自身のアート」を造り上げて欲しいと願っており、本学はそのための支援を惜しみません。

組織

Organization

運営組織等

Management Structure



副理事

Associate Managing Trustees

企画・国際交流担当 Planning and International Exchange	烏山 一 Hajime KARASUYAMA
総務・財務担当 General Affairs and Finance	近藤 弘 Hiroshi KONDO
教育担当 Education	千葉 司 Tsukasa CHIBA
研究担当 Research	北嶋 繁孝 Shigetaka KITAJIMA
研究担当 Research	水澤 英洋 Hidehiro MIZUSAWA
医療担当 Medical Treatment	田中 雄二郎 Yujiro TANAKA
医療担当 Dental Treatment	嶋田 昌彦 Masahiko SHIMADA

学長特別補佐

Executive Advisers to the President

企画・国際交流担当 Planning and International Exchange	川口 陽子 Yoko KAWAGUCHI
教育担当 Education	北川 昌伸 Masanobu KITAGAWA
教育担当 Education	小村 健 Ken OMURA
研究担当 Research	石野 史敏 Fumitoshi ISHINO
入試担当 Entrance Examination	東 みゆき Miyuki AZUMA
入試・高大連携担当 Entrance Examination and High School-University Collaboration	森尾 友宏 Tomohiro MORIO
評価担当 Evaluation	杉原 泉 Izumi SUGIHARA
評価担当 Evaluation	井関 祥子 Sachiko ISEKI
評価担当 Evaluation	赤澤 智宏 Chihiro AKAZAWA
評価担当 Evaluation	中島 ひかる Hikaru NAKASHIMA
評価担当 Evaluation	三林 浩二 Kohji MITSUBAYASHI
苦情相談・学生支援担当 Complaint Consultation and Student Support	松浦 雅人 Masato MATSUURA
苦情相談・学生支援担当 Complaint Consultation and Student Support	江石 義信 Yoshinobu EISHI
広報担当 Public Relations	高久田 和夫 Kazuo TAKAKUDA

経営協議会

Administrative Council

経営に関する重要事項を審議
Deliberate on management issues

学内委員 | Internal Committee

学長 President	大山 喬史 Takashi OHYAMA
理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning and International Exchange)	大野 喜久郎 Kikuo OHNO
理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs, Finance, and Facilities)	伊藤 勲 Isao ITO
理事 (教育担当) Trustee (Education)	須田 英明 Hideaki SUDA
理事 (研究担当) Trustee (Research)	森田 育男 Ikuo MORITA
理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments)	吉澤 靖之 Yasuyuki YOSHIZAWA

学外委員 | External Committee

クオントムリープ株式会社 代表取締役ファウンダー & CEO Founder & CEO, Representative Director, Quantum Leaps Corporation	出井 伸之 Nobuyuki IDEI
全国視聴覚教育連盟 会長、 一般財団法人日本視聴覚教育協会 名誉会長 President, National Association of Audio-Visual Techniques in Adult Education, Honorary President, Japan Audio-Visual Education Association	井上 孝美 Takayoshi INOUE
医療法人秀和会 理事、 学校法人文京学園 理事、 本学名誉教授 Director, Shuwakai Medical Corporation, Trustee, Educational Foundation Bunkyo Gakuin, Professor Emeritus	小池 盛雄 Morio KOIKE
あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社 特別顧問 Aioi Nissay Dowa Insurance Co., Ltd., Special Adviser	瀬下 明 Akira SESHIMO
高橋矯正歯科診療所 理事長、 本学名誉教授 Director, Takahashi Orthodontic Office, Professor Emeritus	三浦 不二夫 Fujio MIURA
読売新聞グループ本社 代表取締役会長・主筆 Editor-in-Chief, The Yomiuri Shimbun Holdings	渡辺 恒雄 Tsuneo WATANABE

教育研究評議会

Education and Research Council

教育に関する重要事項を審議
Deliberate on educational and research issues

学長 President	大山 喬史 Takashi OHYAMA	生体材料工学研究所長 Director, Institute of Biomaterials and Bioengineering	埴 隆夫 Takao HANAWA
理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning and International Exchange)	大野 喜久郎 Kikuo OHNO	難治疾患研究所長 Director, Medical Research Institute	北嶋 繁孝 Shigetaka KITAJIMA
理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs, Finance, and Facilities)	伊藤 勲 Isao ITO	医学部附属病院長 Director, Medical Hospital	田中 雄二郎 Yujiro TANAKA
理事 (教育担当) Trustee (Education)	須田 英明 Hideaki SUDA	歯学部附属病院長 Director, Dental Hospital	嶋田 昌彦 Masahiko SHIMADA
理事 (研究担当) Trustee (Research)	森田 育男 Ikuo MORITA	図書館情報メディア機構長 Director General, Institute for Library and Media Information Technology	木下 淳博 Atsuhiko KINOSHITA
理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments)	吉澤 靖之 Yasuyuki YOSHIZAWA	学生支援・ 保健管理機構長 Officer, Student Support and Health Administration Organization	谷口 尚 Hisashi TANIGUCHI
副学長 (総括) Vice President (Overall Management)	佐々木 成 Sei SASAKI	大学院医歯学総合研究科 教授 (医学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Medical Division)	水澤 英洋 Hidehiro MIZUSAWA
大学院医歯学総合研究科長、 医学部長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Medical Division)	湯浅 保仁 Yasuhiro YUASA	大学院医歯学総合研究科 教授 (歯学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Dental Division)	山口 朗 Akira YAMAGUCHI
大学院保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences	井上 智子 Tomoko INOUE	大学院保健衛生学研究科 教授 Professor, Graduate School of Health Care Sciences	齋藤 やよい Yayoi SAITO
歯学部長 Dean, Faculty of Dentistry	影近 弘之 Hiroyuki KAGECHIKA	教養部教授 Professor, College of Liberal Arts and Sciences	奈良 雅之 Masayuki NARA
教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences	千葉 司 Tsukasa CHIBA	生体材料工学研究所教授 Professor, Institute of Biomaterials and Bioengineering	山下 仁大 Kimihiro YAMASHITA
		難治疾患研究所教授 Professor, Medical Research Institute	石野 史敏 Fumitoshi ISHINO

組 織 Organization

教育研究組織等

Education and Research Structure



大学院 Graduate School	
医歯学総合研究科長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences	湯浅 保仁 Yasuhito YUASA
医歯学総合研究科副研究科長 Vice Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences	田上 順次 Junji TAGAMI
医歯学総合研究科副研究科長 Vice Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences	影近 弘之 Hiroyuki KAGECHIKA
保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences	井上 智子 Tomoko INOUE
生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science PhD program	影近 弘之 Hiroyuki KAGECHIKA
医学部 Faculty of Medicine	
医学部長 Dean, Faculty of Medicine	湯浅 保仁 Yasuhito YUASA
医学科長 Director, School of Medicine	水澤 英洋 Hidehiro MIZUSAWA
保健衛生学科長 Director, School of Health Care Sciences	戸塚 実 Minoru TOZUKA
附属病院長 Director, Medical Hospital	田中 雄二郎 Yujiro TANAKA
歯学部 Faculty of Dentistry	
歯学部長 Dean, Faculty of Dentistry	田上 順次 Junji TAGAMI
歯学科長 Director, School of Dentistry	森山 啓司 Keiji MORIYAMA
口腔保健学科長 Director, School of Oral Health Care Sciences	品田 佳世子 Kayoko SHINADA
附属病院長 Director, Dental Hospital	嶋田 昌彦 Masahiko SHIMADA
歯科技工士学校長 Head, School of Dental Technologists	鈴木 哲也 Tetsuya SUZUKI
教養部 College of Liberal Arts and Sciences	
教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences	千葉 司 Tsukasa CHIBA
生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering	
研究所長 Director	塙 隆夫 Takao HANAWA

難治疾患研究所 Medical Research Institute	
研究所長 Director	北嶋 繁孝 Shigetaka KITAJIMA
図書館情報メディア機構 Institute for Library and Media Information Technology	
図書館情報メディア機構長 Director, Multimedia Education Division and Media Information Technology	木下 淳博 Atsuhiko KINOSHITA
メディア教育推進部門長 Director, Multimedia Education Division	木下 淳博 Atsuhiko KINOSHITA
図書館長 Director, Library	木下 淳博 Atsuhiko KINOSHITA
図書館国府台分館長 Director, Kounodai Branch Library	畔柳 和代 Kazuyo KUROTANAGI
情報基盤部門長 Director, Information Technology Division	高瀬 浩造 Kozo TAKASE
学生支援・保健管理機構 Student Support and Health Administration Organization	
学生支援・保健管理機構長 Officer, Student Support and Health Administration Organization	谷口 尚 Hisashi TANIGUCHI
学生・女性支援センター長 Director, Support Center for Students and Female Staff	江石 義信 Yoshinobu EISHI
保健管理センター長 Director, Health Administration Center	宮崎 泰成 Yasunari MIYAZAKI
職員健康管理室 Health Administration Office for Employees	
室長 Director	宮崎 泰成 Yasunari MIYAZAKI
研究・産学連携推進機構 Research and Industry-University Alliance Organization	
研究・産学連携推進機構長 Officer, Research and Industry-University Alliance Organization	森田 育男 Ikuro MORITA
研究推進本部長 Senior Director, Research Promotion Division	森田 育男 Ikuro MORITA
産学連携推進本部長 Senior Director, Industry Alliances Division	水谷 修紀 Shuki MIZUTANI
医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry	
センター長 Director	奈良 信雄 Nobuo NARA

医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences	
センター長 Director	中村 正孝 Masataka NAKAMURA
実験動物センター Center for Experimental Animal	
センター長 Director	金井 正美 Masami KANAI
国際交流センター International Exchange Center	
センター長 Director	森尾 郁子 Ikuko MORIO
生命倫理研究センター Life Science and Bioethics Research Center	
センター長 Director	吉田 雅幸 Masayuki YOSHIDA
医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education	
センター長 Director	高田 和生 Kazuki TAKADA
疾患バイオリソースセンター Bioresource Research Center	
センター長 Director	稲澤 譲治 Joji INAZAWA
再生医療研究センター Center for Stem Cell and Regenerative Medicine	
センター長 Director	関矢 一郎 Ichirou SEKIYA
スポーツ医歯学センター Center for Sports Medicine and Sports Dentistry	
センター長 Director	柳下 和慶 Kazuyoshi YAGISHITA
病院運営企画部 Hospital Administration Planning Division	
部長 Director	近藤 弘 Hiroshi KONDO

大 学 院

Graduate Schools

医歯学総合研究科

Graduate School of Medical and Dental Sciences

修士課程 人材育成目標

医学、歯学、生命理工学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学分野の教育者、研究者、技術者等を育成する。

なお、医療管理政策学コースにおいては医療サービスに関わる社会的ニーズに応えるため、指導的立場で活躍する人材養成課程を基に医療管理ならびに医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を育成する。

修士課程 | Master's Program

医歯理工学専攻

Medical and Dental Science and Technology

医歯理工学専攻医療管理政策学コース

(医療管理学コース・医療政策学コース)

Medical and Dental Science and Technology,
Master of Medical Administration Course

博士課程 医歯学系専攻 人材育成目標

医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。

博士課程 生命理工学系専攻 人材育成目標

生命理工学分野に精通し、生命理工学と疾患研究領域との融合的学際分野において幅広い教養と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有する研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、バイオ産業や医療機器開発などにおいて先端的な技術革新を実現するためのマネジメント能力を身につけ、産業界で活躍できる人材を育成する。

博士課程 | Doctoral Programs

医歯学系専攻

Medical and Dental Sciences

口腔機能再構築学講座
Oral Health Sciences

口腔病理学分野
Oral Pathology

細菌感染制御学分野
Bacterial Pathogenesis

分子免疫学分野
Molecular Immunology

先端材料評価学分野
Advanced Biomaterials

口腔病態診断科学分野
Diagnostic Oral Pathology

有機材料科学分野
Organic Biomaterials

機能材料科学分野
Functional Material

口腔放射線腫瘍学分野
Oral Radiation Oncology

顎口腔外科学分野
Oral and Maxillofacial Surgery

口腔放射線医学分野
Oral and Maxillofacial Radiology

麻酔・生体管理学分野
Anesthesiology and Clinical Physiology

疼痛制御学分野
Orofacial Pain Management

小児歯科学分野
Pediatric Dentistry

咬合機能矯正学分野
Orthodontic Science

う蝕制御学分野
Cariology and Operative Dentistry

摂食機能保存学分野
Fixed Prosthodontics

歯髄生物学分野
Pulp Biology and Endodontics

部分床義歯補綴学分野
Removable Partial Prosthodontics

インプラント・
口腔再生医学分野

Oral Implantology and
Regenerative Dental Medicine

顎顔面頸部機能再建学講座
Maxillofacial and Neck Reconstruction

形成・再建外科学分野
Plastic and Reconstructive Surgery

頭頸部外科学分野
Head and Neck Surgery

腫瘍放射線治療学分野
Radiation Therapeutics and Oncology

顎顔面解剖学分野
Maxillofacial Anatomy

認知神経生物学分野
Cognitive Neurobiology

分子発生学分野
Molecular Craniofacial Embryology

分子細胞機能学分野
Cellular Physiological Chemistry

金属材料科学分野
Metals

バイオデザイン分野
Biodesign

顎顔面外科学分野
Maxillofacial Surgery

顎顔面矯正学分野
Maxillofacial Orthognathics

顎顔面補綴学分野
Maxillofacial Prosthetics

生体支持組織学講座
Bio-Matrix

細胞生物学分野
Cell Biology

病態代謝解析学分野
Medical Biochemistry

運動器外科学分野
Joint Surgery and Sports Medicine

硬組織構造生物学分野
Biostructural Science

硬組織薬理学分野
Pharmacology

結合組織再生学分野
Connective Tissue Regeneration

硬組織病態生化学分野
Biochemistry

分子情報伝達学分野
Cell Signaling

無機材料科学分野
Inorganic Materials

歯周病学分野
Periodontology

環境社会医歯学講座
Public Health

健康推進医学分野
Health Promotion

国際環境寄生虫病学分野
Environmental Parasitology

法医学分野
Forensic Medicine

国際保健医療協力学分野
International Health and Medicine

政策科学分野
Health Care Management and Planning

分子疫学分野
Molecular Epidemiology

研究開発学分野
Research Development

医療政策情報学分野
Health Policy and Informatics

先進倫理医科学分野
Life Sciences and Bioethics

法歯学分野
Forensic Dentistry

医療経済学分野
Health Care Economics

歯学教育開発学分野
Dental Education Development

健康推進歯学分野
Oral Health Promotion

スポーツ歯医学分野
Sports Medicine and Dentistry

歯学教育システム
評価学分野

Educational System in Dentistry

教育メディア開発学分野
Educational Media Development

老化制御学講座
Gerontology and Gerodontology

血流制御内科学分野
Geriatrics and Vascular Medicine

リハビリテーション医学分野
Rehabilitation Medicine

高齢者歯科学分野
Gerodontology and Oral Rehabilitation

全人の医療開発学講座
Comprehensive Patient Care

臨床検査医学分野
Laboratory Medicine

救命救急医学分野
Critical Care Medicine

心療・緩和医療学分野
Liaison Psychiatry and Palliative Medicine

薬物動態学分野
Pharmacokinetics and Pharmacodynamics

臨床医学教育開発学分野
Medical Education
Research and Development

救急災害医学分野
Acute Critical Care and Disaster Medicine

臨床腫瘍学分野
Clinical Oncology

障害者歯科学分野
Dentistry for Persons with Disabilities

総合診療歯科学分野
General Dentistry

歯科心身医学分野
Psychosomatic Dentistry

歯科医療行動科学分野
Behavioral Dentistry

顎関節口腔機能学分野
Temporomandibular Joint and
Oral Function

認知行動医学講座
Cognitive and Behavioral Medicine

神経機能形態学分野
Neuroanatomy and Cellular Neurobiology

システム神経生理学分野
Systems Neurophysiology

細胞薬理学分野
Pharmacology and Neurobiology

分子神経科学分野
Molecular Neuroscience

神経病理学分野
Neuropathology

眼科学分野
Ophthalmology and Visual Science

耳鼻咽喉科学分野
Otorhinolaryngology

脳神経病態学分野
Neurology and Neurological Science

精神行動医科学分野
Psychiatry and Behavioral Sciences

脳神経機能外科学分野
Neurosurgery

血管内治療学分野
Endovascular Surgery

NCNP脳機能病態学分野
NCNP Brain Physiology and Pathology

生体環境応答学講座
Bio-Environmental Response

免疫アレルギー学分野
Immune Regulation

ウイルス制御学分野
Molecular Virology

免疫治療学分野
Immunotherapeutics

環境生物学分野
Cellular and Environmental Biology

生体防衛学分野
Biodefense Research

病態細胞生物学分野
Pathological Cell Biology

代謝応答化学分野
Pathological Biochemistry

免疫応答制御学分野
Immunology

発生発達病態学分野
Pediatrics and Developmental Biology

膠原病・
リウマチ内科学分野

皮膚科学分野
Dermatology

NCCHD成育医学分野
NCCHD Child Health and Development

器官システム制御学講座
Systemic Organ Regulation

人体病理学分野
Human Pathology

細胞生理学分野
Physiology and Cell Biology

分子細胞循環器学分野
Molecular Cellular Cardiology

分子代謝医学分野
Molecular Medicine and Metabolism

幹細胞制御分野
Stem Cell Regulation

分子薬理学分野
Molecular Pharmacology

細胞機能調節学分野
Molecular Cell Biology

統合エピゲノミクス分野
Epigenetics

時間生物学分野
Chronobiology

幹細胞医学分野
Stem Cell Biology

統合呼吸器病学分野
Respiratory Medicine

消化器病態学分野
Gastroenterology and Hepatology

腫瘍外科学分野
Surgical Oncology

循環制御内科学分野
Cardiovascular Medicine

心肺統御麻酔学分野
Anesthesiology

心臓血管外科学分野
Cardiovascular Surgery

腎臓内科学分野
Nephrology

生殖機能協同学分野
Comprehensive Reproductive Medicine

腎泌尿器外科学分野
Urology

食道・一般外科学分野
Esophageal and General Surgery

呼吸器外科学分野
Thoracic Surgery

都医学研
疾患分子生物学分野

Igakuken Disease-oriented
Molecular Biology

先端医療開発学講座
Advanced Therapeutic Sciences

臨床解剖学分野
Clinical Anatomy

システム発生・再生医学分野
Systems BioMedicine

包括病理学分野
Comprehensive Pathology

分子腫瘍医学分野
Molecular Oncology

診断病理学分野
Surgical Pathology

疾患モデル動物解析学分野
Experimental Animal Model for Human Disease

シグナル遺伝子制御学分野
Signal Gene Regulation

生体機能分子科学分野
Biofunctional Molecular Science

医薬品化学分野
Medicinal Chemistry

先端計測開発医学分野
Biomedical Devices and Instrumentation

先端機器開発医学分野
Medical Instrument

バイオメカニクス分野
Biomechanics

生体界面工学分野
Biointerface Engineering

生体材料機能医学分野
Material Biofunctions

遺伝制御学分野
Genetic Regulation

生命情報学分野
Bioinformatics

遺伝子応用医学分野
Applied Gene Medicine

分子細胞遺伝学分野
Molecular Cytogenetics

遺伝生化学分野
Biochemical Genetics

構造生物学分野
Structural Biology

血液内科学分野
Hematology

分子内分泌代謝学分野
Molecular Endocrinology and Metabolism

肝胆膵・総合外科学分野
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery

整形外科学分野
Orthopaedic and Spinal Surgery

画像診断・核医学分野
Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine

疾患ゲノミクス分野
Disease Genomics

疾患多様性遺伝学分野
Human Genetics and Disease Diversity

応用再生医学分野
Applied Regenerative Medicine

JFCR腫瘍制御学分野
JFCR Cancer Biology

大 学 院

Graduate Schools

博士課程 | Doctoral Program

生命理工学系専攻

Life Science and Technology

生命理工学講座
Life Science and Technology

環境遺伝生態学分野
Microbial Genomics and Ecology

センサ医学分野
Biomedical Devices and Instrumentation

バイオ情報分野
Biomedical Information

バイオエレクトロニクス分野
Bioelectronics

物質医学分野
Material-Based Medical Engineering

薬化学分野
Organic and Medicinal Chemistry

生命有機化学分野
Chemical Bioscience

金属生体材料分野
Metallic Biomaterials

無機生体材料分野
Inorganic Biomaterials

有機生体材料分野
Organic Materials

生命システム解析学分野
Biosystem Analysis

分子細胞生物学分野
Molecular Cell Biology

発生再生生物学分野
Developmental and Regenerative Biology

免疫学分野
Immunology

エピジェネティクス分野
Epigenetics

システム情報生物学分野
Computational Biology

分子構造情報学分野
Structural Biology

高次神経科学分野
Neuroscience

生体情報薬理学分野
Bio-informational Pharmacology

治療ゲノム学分野
Therapeutic Genomics

分子遺伝学分野
Molecular Genetics

環境エピゲノム分野
Epigenetic Epidemiology

ゲノム構造制御分野
Genome Structure and Regulation

理研生体分子制御学分野
RIKEN Molecular and Chemical Somatology

創薬科学分野
Molecular Biomedicine

NCC腫瘍医科学分野
NCC Cancer Science

寄附講座・寄附研究部門

Endowed Departments

薬害監視学講座
Department of Pharmacovigilance

ナノメディスン（DNP）講座
Department of Nanomedicine

応用腫瘍学講座
Department of Translational Oncology

肝臓病態制御学講座
Department of Liver Disease Control

軟骨再生学講座
Department of Cartilage Regeneration

消化管先端治療学講座
Department of Advanced Therapeutics for GI Diseases

整形外科先端治療開発学講座
Department of Orthopaedic Research and Development

睡眠制御学講座
Department of Sleep Modulatory Medicine

小児・周産期地域医療学講座
Department of Pediatrics, Perinatal and Maternal Medicine

慢性腎臓病病態治療学講座
Department of Chronic Kidney Disease

臓器代謝ネットワーク講座
Department of Organ Network and Metabolism

関節機能再建学講座
Department of Joint Reconstruction

女性健康医学講座
Department of Women's Health

先端的外科治療技術研究
開発研究部門
Department of
Advanced Surgical Technology
Research and Development

メタボ先制医療講座
Department of Preemptive Medicine and Metabolism

基礎動脈硬化化学講座
Department of Arteriosclerosis and Vascular Biology

大 学 院

Graduate Schools

保健衛生学研究科

Graduate School of Health Care Sciences

人材育成目標

看護学及び検査学の領域における専門的な知識・技術を熟知し、臨床現場で高度な実践能力を発揮するとともに、関連領域への幅広い知的・倫理的な理解・関心、並びに旺盛な研究心と問題解決型の思考力に基いて、専門領域の課題に対応する臨床指向型研究を積極的に推し進めることにより、国際的・学際的な視野から指導力、教育力を発揮できる人材の養成を基本理念としている。

博士（前期）課程

高度な実践能力、臨床現場での指導力、臨床指向型の研究能力を備えた専門職業人の育成、並びに優れた教育者、国際的・学際的な研究・実践リーダーとして活躍するための基礎作りに力を入れる。

博士（後期）課程

博士（前期）課程で培った専門職業人、臨床指向型研究者としての力量を基盤に、国際的・学際的な研究・実践のリーダーとして活躍すると共に、優れた実践者、研究者、教育者の教育を担い得る能力を有した人材を育成する。

博士（前期・後期）課程 | Doctoral Programs (Master's Course-Doctor's Course)

総合保健看護学専攻

Comprehensive Health Nursing Sciences

地域・在宅ケア看護学講座
Community Health and Home Care Nursing

地域保健看護学分野
Community Health Nursing

在宅ケア看護学分野
Home Care Nursing

リプロダクティブヘルス
看護学分野
Reproductive Health Nursing

精神保健看護学分野
Mental Health and Psychiatric Nursing

看護機能・ケアマネジメント
開発学講座
Nursing Function and Care Management

生体・生活機能看護学分野
Fundamental Nursing and Life Support

生体検査科学専攻

Biomedical Laboratory Sciences

生命情報解析開発学講座
Life Sciences and Bio-informatics

分子生命情報解析学分野
Biochemistry and Biophysics

形態・生体情報解析学分野
Anatomy and Physiological Science

生命機能情報解析学分野
Biofunctional Informatics

生体機能支援システム学分野
Biophysical System Engineering

小児・家族発達看護学分野
Child and Family Nursing

先端侵襲緩和ケア看護学分野
Critical and Invasive-Palliative Care Nursing

高齢者看護・ケアシステム
開発学分野
Gerontological Nursing and Health Care System

看護システムマネジメント学分野
System Management in Nursing

健康教育開発学講座
Health Care Education and Development

健康情報分析学分野
Analytical Health Science

健康教育学分野
Health Education

国際看護開発学分野
International Nursing Development

分子・遺伝子応用検査学講座
Moleculo-genetic Sciences

先端分析検査学分野
Analytical Laboratory Chemistry

生体防御検査学分野
Microbiology and Immunology

分子病態検査学分野
Molecular Pathology

先端血液検査学分野
Laboratory Molecular Genetics of Hematology

先端生体分子分析学分野
Advanced Analytical Chemistry

大 学 院

Graduate Schools

生命情報科学教育部

Biomedical Science PhD Program

*平成23年度募集終了
*平成24年度より医歯学総合研究科へ統合

博士（前期・後期）課程 | Doctoral Programs (Master's Course-Doctor's Course)

バイオ情報学専攻

Bioinformatics

高次生命科学専攻

Functional Biology

M&Dタワー



学 部

Faculties

医学部

Faculty of Medicine

医学科

School of Medicine

保健衛生学科

School of Health Care Sciences

看護学専攻

Nursing Science

検査技術学専攻

Medical Technology

理 念

医学部は1951年に設立され、現在は医学科と保健衛生学科からなっている。医学科の授業科目としては、機能形態学、機能協関学、分子遺伝学、感染免疫学、病因病態学、環境社会医学、全人診療学、内科学、小児医学、精神医学、外科学、感覚器医学、皮膚医学、女性医学、尿路生殖医学がある。保健衛生学科は看護学専攻と検査技術学専攻とからなる。看護学専攻の科目には基礎・臨床看護学と地域保健看護学があり、検査技術学専攻の授業科目には基礎検査学と病因・病態検査学がある。

医学科と保健衛生学科は、国内にとどまらず世界の医療現場においてリーダーとなりうる優秀な学生を歓迎する。さらに、本学は他の人々に深い配慮と豊かな想像力を持ち、国民の健康に貢献しようという強い意志を持った学生を求めている。

東京医科歯科大学の3つの教育理念に基づき、医学部の全教職員は学生が学術的・臨床的知識を習得し、臨床の場では高い技術を備えるよう指導するとともに、研究意欲に富み、すぐれた人格と洞察力を持つ医療人を育てよう努める。本学学生の大多数が、国内・世界の人々に貢献できることを望んでいる。

保健衛生学科の教育理念は、豊かな教養と高い倫理観に基づくものである。自ら学び研究し、創意工夫をすることができる医療人を育て、個々に応じた指導を目指している。学際的視点に立ち看護学・検査学それぞれの領域への専門的な教育を提供している。

学部Faculties

歯学部

Faculty of Dentistry

歯学科

School of Dentistry

教育理念

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成する。

教育目標

- 1. 幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。

口腔保健学科

School of Oral Health Care Sciences

基本的理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

一般教育目標

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

- 1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
- 3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
- 4. 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
- 5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
- 6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
- 7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。
- 8. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。

附属教育研究施設 | Affiliated Educational and Research Facilities

附属歯科技工士学校

School of Dental Technologists

歯科技工に関する高度の技術を授ける。

*平成24年度募集終了、平成26年度廃止予定

- 2. 基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 3. 科学的探究心をもち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
- 4. 全身の常態と病態を理解した上で、口腔・頭蓋・顎・顔面領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識と基本的技術を修得する。
- 5. 社会における歯科医学・医療の役割とその重要性を理解する。

- 9. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

口腔保健衛生学専攻

Oral Health Care Sciences

生涯口腔保健衛生学分野
Lifetime Oral Health Care Sciences

健康支援
口腔保健衛生学分野
Oral Care for Systemic Health Support

口腔疾患予防学分野
Preventive Oral Health Care Sciences

地域・福祉
口腔保健衛生学分野
Oral Health Care Science for Community and Welfare

口腔健康教育学分野
Oral Health Care Education

口腔保健衛生基礎学分野
Basic Sciences of Oral Health Care

口腔保健工学専攻

Oral Health Engineering

口腔保健基礎工学講座
Fundamental Oral Health Engineering

口腔基礎科学分野
Basic Oral Health Science

口腔保健工学統合学分野
Comprehensive Oral Health Engineering

口腔臨床科学分野
Oral Clinical Science

口腔保健機材工学講座
Oral Materials Science and Technology

情報歯科医療工学分野
Oral Health Information Technology

生体材料加工学分野
Oral Biomaterials Engineering

口腔保健再建工学講座
Oral Prosthetic Sciences

歯冠修復技工学分野
Fixed Prosthetic Engineering

口腔機能再建技工学分野
Oral Prosthetic Engineering

教養部

College of Liberal Arts and Sciences

理念

教養部は、本学の教育理念に沿って、将来、国際的に活躍する医療人を育成するため、さまざまな文化や多様な世界を理解できる幅広い教養と、他者を理解するための豊かな感性を備えた人間を育むことを目指しています。医療を志して入学した若者にまず必要とされるのは、専門教育で獲得される医の知識や技術ではなく、市民社会の一員としての自覚に基づく他者を思いやる心と、高度な倫理観、そして、その上に立った他者とのコミュニケーションをはかる能力です。国立大学で現在、唯一設置されている教養部における教養教育は、このような使命を担っています。また、大学院大学としての本学の社会的要請に応え、将来の優れた研究者となる人材を育成すべく、入学時からリサーチマインドを涵養するための自然科学教育のプログラムを提供し、自己問題提起・自己問題解決型の創造的人間の養成を目指します。

上に述べた教養教育の理念に基づき、教養部では次の4つの力を学生に獲得させることを教育の理念として掲げています。

- 1. 市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性
- 2. 科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力
- 3. 国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力
- 4. 専門教育に必要な基礎学力や思考力、技術



ヒクラテスホール（校舎棟）



シャン・ドゥ・コースリー（福利厚生棟）

研 究 所

Research Institutes

生体材料工学研究所

Institute of Biomaterials and Bioengineering

理 念

当研究所の前身である歯科材料研究所が昭和26年にスタートし、その後、半世紀以上に渡って歯科材料を含む生体材料学と医用器材の研究に特化した附置研究所として、他に先駆け医歯工連携の歴史を綴ってきました。この間、昭和41年に医用器材研究所として、平成11年には現在の生体材料工学研究所（略称：生材研）として発展的に改組・改称され、さらに平成24年度の改組により現在の医療基盤材料、生体機能修復、医療デバイス、生体機能分子の4大研究部門、12分野に拡大するとともに、医歯工連携実用化施設を新設しました。これまでに世界に先駆け、「活性型ビタミンD製剤の開発」「抗血栓性ポリマー（MPC）の開発」「超弾性型Ti-Ni合金ワイヤーの開発」「人工アパタイトの製造」などの研究成果を世に出し、基礎から医用デバイス、医療製品の開発に至る、生体材料工学に関する世界の研究拠点として活動してきました。平成16年の国立大学の法人化に伴い策定した、当研究所の第一期中期計画は順調に推移し、平成22年から新たに開始した第二期中期計画においても、バイオマテリアル・バイオエンジニアリングに関する学際的基礎を深化させ、分子デバイスから人工臓器を包含する先端的応用研究を以下の通り推進しています。

1. 疾病に関する分子情報の集積や機能分子創製による、先端医療ナノバイオサイエンス
2. パイオインスパイアード・バイオマテリアルの創製と応用研究
3. バイオシステムエンジニアリングの先端医療への応用研究

わが国の研究環境は激変していますが、飛躍のための好機と捉え、世界に冠たる研究機関としての礎を一層強固にしつつあります。また、若い優秀な人材が魅力を感じる研究所作りを目指しています。



生体材料工学研究所

医療基盤材料研究部門
Biomedical Materials

金属生体材料学分野
Metallic Biomaterials

無機生体材料学分野
Inorganic Biomaterials

有機生体材料学分野
Organic Biomaterials

生体機能修復研究部門
Biofunctional Restoration

生体材料機能医学分野
Material Biofunctions

物質医工学分野
Material-based Medical Engineering

バイオメカニクス分野
Biomechanics

医療デバイス研究部門
Medical Devices

バイオエレクトロニクス分野
Bioelectronics

バイオ情報分野
Biomedical Information

センサ医工学分野
Biomedical Devices and Instrumentation

生体機能分子研究部門
Biomolecular Chemistry

メディシナルケミストリー分野
Medicinal Chemistry

生命有機化学分野
Chemical Bioscience

薬化学分野
Organic and Medicinal Chemistry

医歯工連携実用化施設
Medical and Dental Device Technology Incubation Center

研 究 所

Research Institutes

難治疾患研究所

Medical Research Institute

理 念

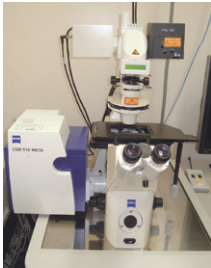
東京医科歯科大学難治疾患研究所は、難治疾患病態発現の“学理”と“応用”、すなわち、基本原理を理解し、その診断、治療法を開発することを目指している。これらの難治疾患としては、がん、心血管、神経、運動器、代謝、免疫の広範囲にわたる。我々は、また、発生、分化の基本原理や難治疾患の新規治療法の開発をもたらすであろう幹細胞の研究を進展させようとしている。この目的達成のために、分子、細胞、そしてモデル動物までにわたる一流の研究者を集め、その結果、ヒトを含む生物全般に共通して働く分子機構を明らかにし、難治疾患に関わる臨床と実験試料の多大なリソースを集積してきた。特に、本研究所は、文部科学大臣による「共同利用、共同研究拠点」の認定制度に基づき、「難治疾患共同研究拠点」（認定の有効期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日）として認定された。その主なミッションは、以下の通りである。

1. 難治疾患の病因・病態形成機構解明と診断・予防・治療法開発の基盤形成に資する共同利用・共同研究拠点構築を目的とする。
2. 「難治疾患バイオリソース」、「難治疾患モデル動物」、「難治疾患オミックス」の3つの難治疾患研究リソースを活用した公募型の戦略的難治疾患克服共同プロジェクトを推進する。
3. 国内外の研究者に、上記のリソース群へのアクセスや現有する先端解析支援施設の利用機会の提供を行ない、本邦の難治疾患研究の広範な発展に貢献する。
4. 難治疾患研究に携わる若手研究者の育成・支援システムを整備する。
5. シンポジウム等の開催により、難治疾患研究の啓発と最先端情報の発信に努める。

また、本研究所は、医歯学の学生、大学院学生の教育、若手研究者の育成に深く関与するとともに、海外の多くの研究機関との協定を結び、国際的なプラットフォームを形成している。難治疾患研究を志す国内外の多くの学生、研究者に広く開かれた研究所を目指す。



ゲノム解析室



形態機能解析室



細胞プロテオーム解析室



バイオリソース支援室

先端分子医学研究部門
Advanced Molecular Medicine

分子代謝医学分野
Molecular Medicine and Metabolism

分子薬理学分野
Molecular Pharmacology

分子細胞生物学分野
Molecular Cell Biology

分子神経科学分野
Molecular Neuroscience

生体防御学分野
Biodefense Research

生体情報薬理学分野
Bio-informational Pharmacology

幹細胞制御分野
Stem Cell Regulation

分子構造情報学分野
Structural Biology

フロンティア研究室
(低酸素生物学)
Frontier Research Unit
Oxygen Biology

テニュアトラック研究室
(細胞分子医学)
Tenure Track Unit
Cellular and Molecular Medicine

難治病態研究部門
Pathophysiology

神経病理学分野
Neuropathology

病態生化学分野
Pathological Biochemistry

病態細胞生物学分野
Pathological Cell Biology

発生再生生物学分野
Developmental and Regenerative Biology

幹細胞医学分野
Stem Cell Biology

免疫疾患分野
Immunology

分子病態分野
Molecular Pathogenesis

フロンティア研究室
(ウイルス治療学)
Frontier Research Unit
Virus Research Unit

プロジェクト研究室
Project Research Unit
Stress Bio-Marker Research

ゲノム応用医学研究部門
Medical Genomics

分子細胞遺伝学分野
Molecular Cytogenetics

分子遺伝学分野
Molecular Genetics

分子疫学分野
Molecular Epidemiology

遺伝生化学分野
Biochemical Genetics

ゲノム病理学分野
Genomic Pathology

エピジェネティクス分野
Epigenetics

生命情報学分野
Bioinformatics

フロンティア研究室
(レドックス応答細胞生物学)
Frontier Research Unit
Redox Response Cell Biology

プロジェクト研究室
Project Research Unit
Neuroinformatics

機能構築研究部門
Biosystem Generation

病態発現機構研究部門
Pathogenetic Regulation

(連携研究部門)
Integrative Research

大学院教育研究支援
実験施設
Advanced Technology Laboratory

ゲノム解析室
Genome Laboratory

細胞プロテオーム解析室
Laboratory of Cytometry and Proteome

遺伝子組換えマウス実験室
Laboratory of Recombinant Animals

形態機能解析室
Laboratory of Anatomy and Cell Function

バイオリソース支援室
Bioresource Laboratory

構造解析室
Laboratory for Structure Analysis

幹細胞支援室
Stem Cell Laboratory

図書館情報メディア

Library and Media Information Technology

図書館情報メディア機構

Institute for Library and Media Information Technology

理 念

図書館情報メディア機構は、東京医科歯科大学における教育、研究及び学習に必要な医歯学情報等の図書及びその他必要な資料等の収集・整理・管理・運用等を行うとともに、医歯学メディア教育開発の促進、情報通信技術の総合利用の促進を図るために設置された。学術情報の電子化の進展に伴い、教職員・学生の情報利用行動も大きく変わってきた。本学の研究に真に必要な電子資料の充実、学習ニーズを満たす図書の収集、最新の教育手法を支援する情報システムの提供、研究情報データベースやリポジトリなどを通じた研究成果の発信、ブランドデザインに基づく統合認証や複合ポータルなど利便性の向上、情報セキュリティの一層の強化など、東京医科歯科大学の情報担当部門の要として、時代に沿った変革を続けていく。

教育メディア開発部

Department of Educational Media Development

図書館情報メディア機構の教員組織。コンピュータシミュレーション教育システムの開発と活用に関する研究、医療系教育におけるe-learningシステムの活用に関する研究、医療系教育における教育メディアの開発と活用に関する研究など。



図書館ロビー (M&Dタワー 3F)

図書館：本館／国府台分館

Library / Kounodai Branch Library

医歯学系専門図書・雑誌(本館)および教養系図書等(国府台分館)の管理、電子ジャーナル・電子書籍・学術データベースの提供、ILL(図書館間相互貸借サービス)の提供、来館者ならびにネットワーク利用者への各種サービス、館内環境の整備、大学紀要・教養部研究紀要の編集、貴重書の管理。

(平成24年度 Fiscal Year 2012)		
	図書館本館 Main Library	国府台分館 Kounodai Branch Library
	平日 8:30~22:00 土・日・祝日 10:30~18:30	平日 9:00~20:00 (通常授業期間外 9:00~17:00)
蔵書数	214,889冊	89,343冊
閲覧室面積	2,222m ²	280m ²
座席数	301席	125席
入館者数	146,011人	15,845人
電子ジャーナル	7,952タイトル	-
電子書籍	316タイトル	-
データベース	11タイトル	-

情報基盤部門

Information Technology Division

全学における情報インフラの整備および管理、ならびに図書館情報メディア機構が発信・蓄積する情報の管理に関すること。

理 念

図書館情報メディア機構情報基盤部門は、本学における教育・研究支援のためキャンパス情報ネットワークの機能強化および通信帯域の整備、ならびに共有サーバー群の管理などインフラの増強をはかるとともに、サイバー攻撃などに対する情報セキュリティの強化、統合認証によるユーザー管理の効率化、複合ポータルによる情報共有化環境など、教育者・研究者が安心して利用できる利便性の良い情報インフラの整備を推進している。また、図書館情報メディア機構が担当している本学の公式ホームページ、研究情報データベース、リポジトリなどの技術的管理を担当している。

メディア教育推進部門

Multimedia Education Division

教育用e-learning(WebClass, NetAcademyなど)の管理運用・活用支援、CBT用サーバーの管理、教育用PCの管理、コンピュータシミュレーション教育、情報リテラシ教育(文献検索、著作権、情報セキュリティ)、講義映像の収録・配信・同時中継の支援、映像コンテンツの制作、図書館内でのネットワーク環境の提供など、東京医科歯科大学の教育に関わるICT支援。

学生支援・保健管理

Student Support and Health Administration

学生支援・保健管理機構

Student Support and Health Administration Organization

生活、修学、就職、メンタルヘルス及びハラスメントに関する相談等キャンパスライフ全般にわたる全学的支援並びに女性の支援策に係る企画立案並びに学生に対して、健康診断、予防接種等を通じた健康保持増進その他学生の福利厚生に関する検討を行う。

学生・女性支援センター

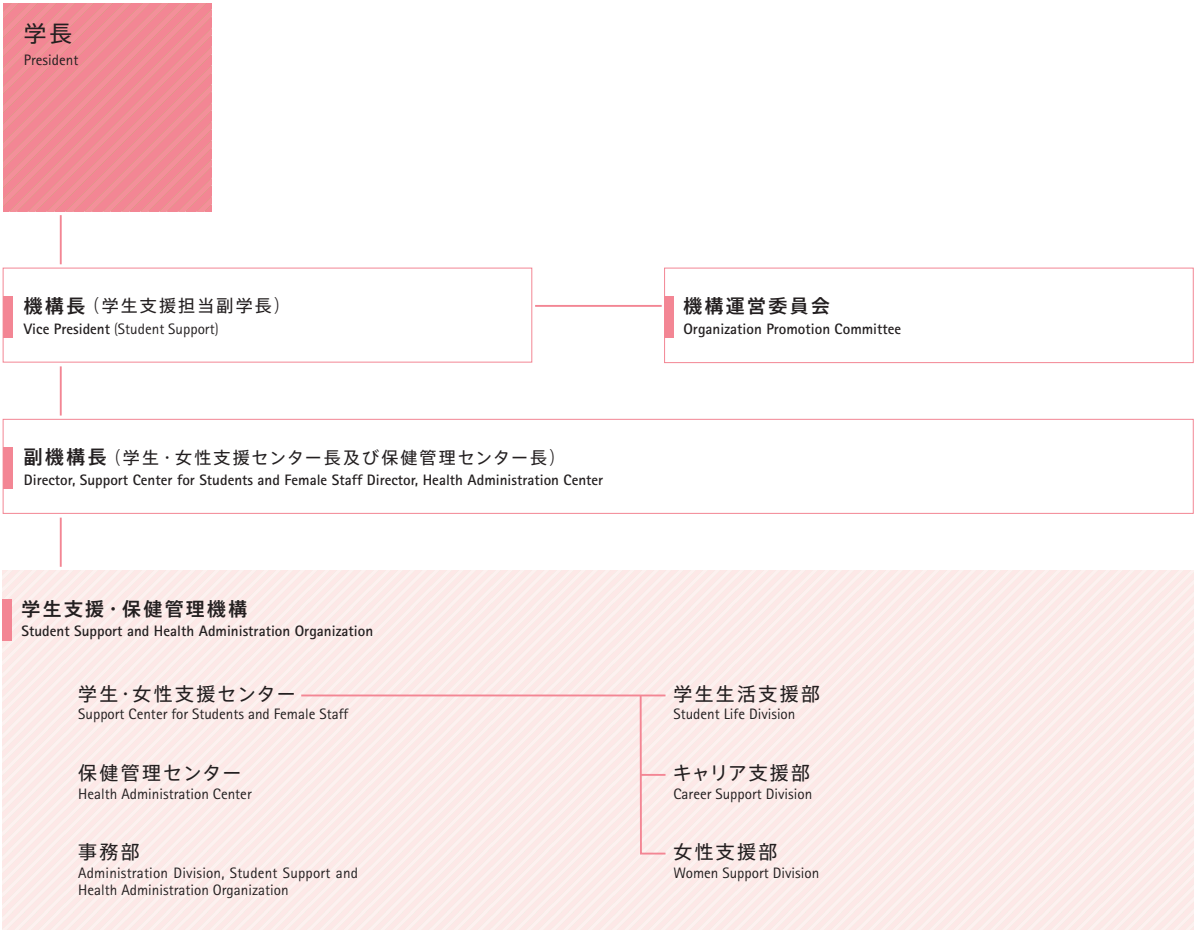
Support Center for Students and Female Staff

本学の学生に対し、生活、修学、就職、メンタルヘルス及びハラスメントに関することなど本学におけるキャンパスライフ全般にわたり、全学的に支援を行い、もって学生支援活動の充実を図る。また、女性研究者(大学院生を含む)の研究活動を支援するための支援策に係る企画立案等を行う。

保健管理センター

Health Administration Center

本学の保健管理の充実を図るための専門的業務を行うとともに、学生の健康保持増進を図ることを目的とする。



研究・産学連携

Research & Industry Collaboration

研究・産学連携推進機構

Research and Industry–University Alliance Organization

本学における研究戦略の策定及び研究活動等への支援並びに知的財産の創出支援、保護及び活用を通じた産学連携の推進に資すること。

研究推進本部

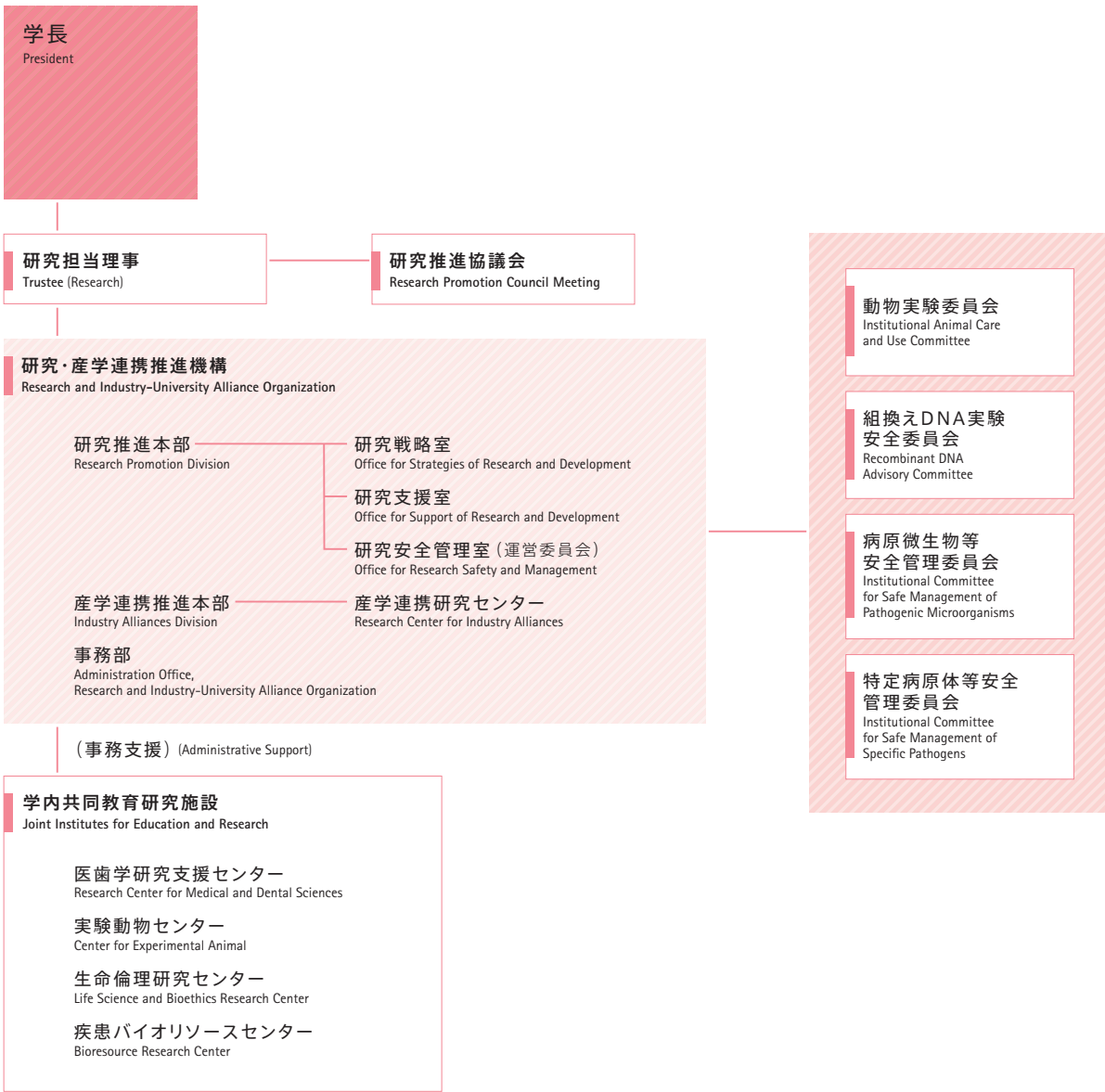
Research Promotion Division

本学における研究戦略の策定及び研究活動等を支援すること。

産学連携推進本部

Industry Alliances Division

本学の活動を活性化するために、国内外における産学連携を推進し、知的財産の創出支援、保護、維持、管理活用および社会への還元を通じて、社会に貢献すること。



附属病院

University Hospitals

医学部附属病院

Medical Hospital

歯学部附属病院

Dental Hospital

理念

大学の基本理念を踏まえ、医学部附属病院および歯学部附属病院は、全人的医療人育成の実践的培地であると同時に一流の医歯学研究者、臨床医、臨床歯科医およびコ・メディカル職員が活躍する場と考え、それぞれの使命と責務の達成に取り組んでいる。

附属病院の最終目標は医歯学領域における現在、未来への社会貢献である。

ここでいう臨床医歯学の社会貢献とは、

1. 病者に最善の医療を提供して可能な限り発病以前の充実した社会生活ができるようにする
2. 予防医学や臨床的研究成果の活用により疾病の発生を防止する
3. 臨床治療成果を医療へ迅速に展開し、疾患治癒率の向上をはかる
4. 社会的要請に応える実践的医療人の育成
5. 臨床研修施設や大学附属病院において臨床指導を実践する医療人の育成
6. 将来の医療を考え次世代の医療の実践や人材養成を可能とする教育・研究者の育成

などが上げられる。これらを実現するために、

1. 学部学生への充実した臨床教育および卒後臨床研修への厚い指導層と症例数など拡充整備された医療環境の提供

2. 受診者への良質で安全な医療の提供
3. 首都、首都圏、関東甲信越圏などの地域中枢病院との人的・機能的連携ならびに国際的な医療貢献とそのための支援体制の構築
4. 広域な連携病院との臨床治験を含めた臨床研究の実践と広域医療レベル向上策の実施
5. 連合大学との連携による横断的研究体制と学内の基礎医学分野との連携による縦断的研究体制を組み合わせたマトリックス構想による先進医療の開発とその実践
6. 国民への安心・安全な医療提供を目指した病院の安全管理および経営の実学的構築

以上6項目の基本使命を掲げ、各附属病院が今後取り組んでいくべき具体的計画を作成した。

医学部附属病院では、国内地域医療上の課題への対応と解決策の提示を行うとともに、臨床研究や最先端医療面では国際的観点から、絶えず世界的貢献を視野に難治疾患や難手術などに新たな治療法の確立を目指す。また、歯学部附属病院では、今後もますます優れた医療人の育成に努め、患者一人ひとりにあった安全で質の高い歯科医療を実践し、口腔の健康増進を通して社会に貢献していくことを目指す。

附属病院の安定した運営は、大学経営にとっても非常に重要であることを踏まえ、継続的な努力を行い、学部学生や大学院生の教育並びに先進的な研究の推進に資する。



医学部附属病院

歯学部附属病院

附属病院

University Hospitals

医学部附属病院

Medical Hospital

病床数：763Beds

診療科

Hospital Departments

内科系診療部門

Departments of Internal Medicine

血液内科 Hematology	老年病内科 Geriatrics
膠原病・リウマチ内科 Medicine and Rheumatology	消化器内科 Gastroenterology and Hepatology
糖尿病・内分泌・代謝内科 Diabetes, Endocrinology and Metabolism	循環器内科 Cardiovascular Medicine
腎臓内科 Nephrology	呼吸器内科 Pulmonary Medicine

外科系診療部門

Departments of Surgery

食道・胃外科 Esophageal and Gastric Surgery	心臓血管外科 Cardiovascular Surgery
大腸・肛門外科 Colorectal Surgery	呼吸器外科 Thoracic Surgery
肝胆膵外科 Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	泌尿器科 Urology
乳腺外科 Breast Surgery	頭頸部外科 Head and Neck Surgery
血管外科 Vascular Surgery	

感覚・皮膚・運動機能診療部門

Departments of Sensory, Motor System Medicine and Dermatology

眼科 Ophthalmology	形成・美容外科 Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery
耳鼻咽喉科 Oto-Rhino-Laryngology	整形外科 Orthopaedic Surgery
皮膚科 Dermatology	

小児・周産・女性診療部門

Departments of Pediatrics, Maternal and Woman's Clinic

小児科 Pediatrics	遺伝子診療外来 Clinical Genetics Division
周産・女性診療科 Maternal and Woman's Clinic	

脳・神経・精神診療部門

Departments of Neurology, Neurosurgery and Neuropsychiatry

脳神経外科 Neurosurgery	精神科 Neuropsychiatry
神経内科 Neurology	心身医療科 Psychosomatic and Palliative Medicine
血管内治療科 Endovascular Surgery	麻酔・蘇生・ ペインクリニック科 Anesthesiology and Pain Clinic

放射線診療部門

Departments of Radiology

画像診断・放射線治療科
Diagnostic Radiology and Oncology

救命救急センター

Trauma and Acute Critical Care Medical Center

保険医療管理部

Department of Insured Medical Care Management

安全管理対策室

Quality Management Section

感染対策室

Infection Control Section

中央診療施設等

Central Clinical Facilities

薬剤部 Department of Pharmacy	臨床試験管理センター Clinical Research Center
検査部 Clinical Laboratory	臨床教育研修センター Center for Postgraduate Medical Education
手術部 Operating Center	高気圧治療部 Hyperbaric Medical Center
放射線部 Radiological Center	MEセンター Medical Engineering Center
輸血部 Hospital Blood Transfusion Center	細胞治療センター Center for Cell Therapy
理学療法部 Physical Medicine Center	低侵襲医学研究センター Center for Minimally Invasive Surgery
集中治療部 Intensive Care Unit	不整脈センター Heart Rhythm Center
材料部 Supply Unit	快眠センター Clinical Center for Pleasant Sleep
分娩部 Maternal Fetal Medicine Division	スポーツ医学診療センター Sports Medicine Clinical Center
病理部 Department of Pathology	難病治療部 Department of Intractable Disease Treatment
光学医療診療部 Department of Endoscopy	腫瘍センター Cancer center
医療情報部 Department of Medical Informatics	病歴管理部 Department of Medical Records
血液浄化療法部 Department of Blood Purification	臨床栄養部 Department of Nutrition
総合診療部 Department of General Medicine	

看護部

Department of Nursing

附属病院

University Hospitals

歯学部附属病院

Dental Hospital

病床数：60Beds 治療台：317 Chair Units

診療科

Hospital Departments

育成系診療科

Clinics for Dentofacial Growth and Development

矯正歯科外来 Orthodontics	小児歯科外来 Pediatric Dentistry
------------------------	-------------------------------

維持系診療科

Clinics for Conservation of Oral and Maxillofacial Function

むし歯外来 Operative Dentistry and Endodontics	歯科心身医療外来 Psychosomatic Dentistry Clinic
歯周病外来 Periodontics	顎関節治療部 Temporomandibular Joint Clinic
ペインクリニック Orofacial Pain Clinic	

回復系診療科

Clinics for Oral and Maxillofacial Rehabilitation

口腔外科外来 Oral Surgery	顎義歯外来 Maxillofacial Prosthetics
顎顔面外科外来 Maxillofacial Surgery	スポーツ歯科外来 Sports Dentistry
義歯外来 Prosthodontics	言語治療外来 Speech Clinic
快眠歯科 (いびき無呼吸) 外来 Dental Clinic for Sleep Disorders (Apnea and Snoring)	インプラント外来 Dental Implant Clinic

総合診療科

Clinics for General Dentistry

歯科総合診療部 Oral Diagnosis and General Dentistry	スペシャルケア外来 Special Care Clinic
第1 総合診療室 General Dentistry I	(専) 摂食 リハビリテーション外来 Dysphagia Rehabilitation
第2 総合診療室 General Dentistry II	息さわやか外来 Fresh Breath Clinic
第3 総合診療室 General Dentistry III	クリーンルーム歯科外来 Cleanroom
歯科麻酔外来 Ambulatory Anesthesia Service	口腔ケア外来 Oral Health Care
歯科放射線外来 Oral and Maxillofacial Radiology Clinic	歯科アレルギー外来 Dental Allergy

全国共同利用施設

Nationwide Joint Institutes

医歯学教育システム
研究センター

Center for Education Research in Medicine and Dentistry

医学・歯学教育のモデル・コア・カリキュラム及び医学・歯学教育における学習知識と技能・態度に関する到達度評価法を調査研究し、わが国の医師・歯科医師の養成に貢献する。



左：スキルスラボI シミュレータを使用した医療手技トレーニング（鏡視下手術）
右：スキルスラボII シミュレータを使用した歯科医療手技トレーニング

学内共同教育研究施設

Joint Institutes for Education and Research

医歯学研究支援センター

Research Center for Medical and Dental Sciences

疾患遺伝子部門

Human Gene Sciences Research Division

基礎・臨床疾患遺伝子分野に関する教育及び研究。

機器分析部門

Instrumental Analysis Research Division

機器分析技術の開発、研究、教育及び分析機器の利用提供と共同利用の推進。

アイソトープ部門

General Isotope Research Division

放射線・ラジオアイソトープ関連分野に関する教育及び研究。

若手研究者インキュベーション部門

Advanced Young Researchers Incubation Division

若手研究者による独立した研究の推進。

実験動物センター

Center for Experimental Animal

動物実験及び動物の飼育管理、並びに疾患モデル動物の開発とその研究。

国際交流センター

International Exchange Center

国際交流に関する統括的な業務の実施及び国際交流の推進。

生命倫理研究センター

Life Science and Bioethics Research Center

本学における臨床研究計画の立案や研究倫理審査を支援し、先端研究の活性化に貢献するとともに、実践的医療人育成のための生命倫理学教育体系の効率化をはかる。

医歯学融合教育支援センター

Center for Interprofessional Education

本学の教育資源を有効に活用し、高齢化社会に対応する包括的医療教育の推進及び教育の質の維持・向上を図るため、医歯学融合型教育を新たに構築し、高度かつ効率的な教育体制を整備する。

疾患バイオリソースセンター

Bioresource Research Center

本学における個別化医療の発展に寄与するための教育及び研究を行うとともに、産学官医療イノベーション研究を推進する。



液体窒素バイオリソース凍結保存システム

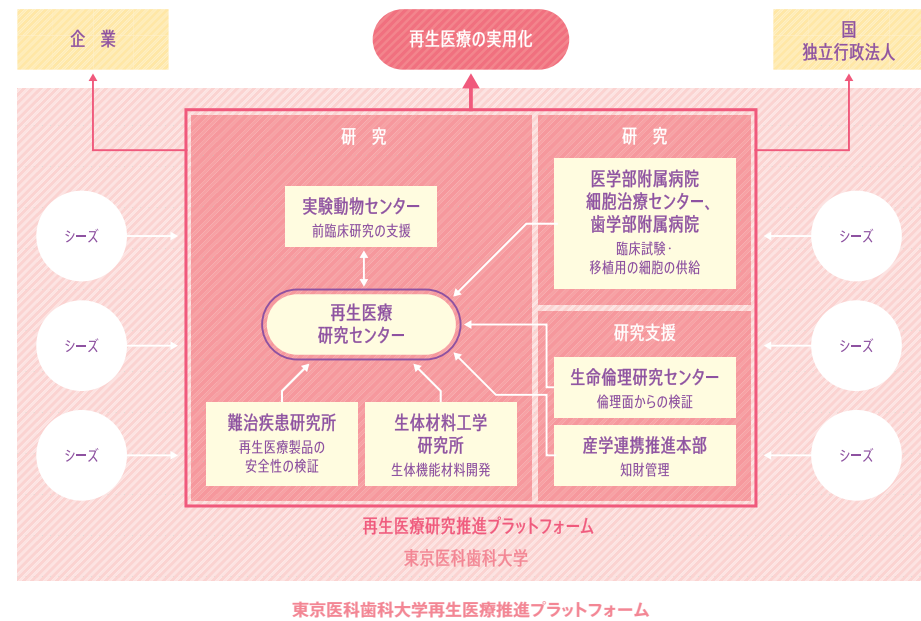
その他の施設等

Other Institutes

再生医療研究センター

Center for Stem Cell and Regenerative Medicine

本学における再生医療の開発研究と実用化研究を促進するとともに、再生医療の発展に寄与するための人材を育成する。



スポーツ医歯学センター

Center for Sports Medicine and Sports Dentistry

医学部附属病院及び歯学部附属病院の緊密な連携及び協力関係に基づき、スポーツ傷害及び疾病に対する集学的かつ先進的な検査、診断又は治療を両附属病院で実施するとともに、両附属病院で得られた臨床的知見等を基にスポーツ医歯学の先進医療技術の開発及びその普及等を行うことにより、トップアスリートの競技力向上並びにスポーツ医歯学の診療及び研究の発展に寄与することを目的とする。

職員健康管理室

Health Administration Office for Employees

役職員の健康管理及び安全管理に関する専門的業務を行う。

病院運営企画部

Hospital Administration Planning Division

附属病院の財務経営戦略の立案及び実行並びに経営状況の分析及び管理を行う。

教育関係プログラム			Educational Program
博士課程教育リーディングプログラム Program for Leading Graduate Schools			
災害看護グローバルリーダー養成プログラム 高知県立大学、兵庫県立大学、日本赤十字看護大学、千葉大学と共同実施	本学事業推進責任者	大学院保健衛生学研究科長 井上 智子 教授	
大学間連携共同教育推進事業 Program for Promoting Inter-University Collaborative Education			
東京コンソーシアムを基盤とした大学院疾患予防科学コース設立 お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携	事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科副研究科長 影近 弘之 教授	
研究者育成の為の行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開 信州大学、福島県立医科大学、北里大学、上智大学、沖縄科学技術大学院大学と連携	本学事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科長 湯浅 保仁 教授	
グローバル人材育成推進事業 Project for Promotion of Global Human Resource Development			
東京医科歯科大学 グローバル人材育成推進事業	事業実施責任者	大学院医歯学総合研究科 田中 雄二郎 教授	
大学の世界展開力強化事業 Re-Inventing Japan Project			
東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム	事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科副研究科長 田上 順次 教授	
未来医療研究人材養成拠点形成事業 ●テーマA メディカル・イノベーション推進人材の養成			
IQ・EQ両者強化によるイノベーター育成	事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科長 湯浅 保仁 教授	
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン Promotion Plan for the Platform of Human Resource Development for Cancer			
次世代がん治療推進専門家養成プラン 秋田大学、東京医科大学、東京工業大学、東京薬科大学、弘前大学と連携	事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科長 湯浅 保仁 教授	
基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成 ●(A) 医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成			
シームレスな次世代研究者養成プログラム	事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科長 湯浅 保仁 教授	
●(C) 医学・歯学教育認証制度等の実施			
国際基準に対応した医学教育認証制度の確立 千葉大学、東京大学、新潟大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学と連携	事業推進責任者	医歯学教育システム研究センター長 奈良 信雄 教授	

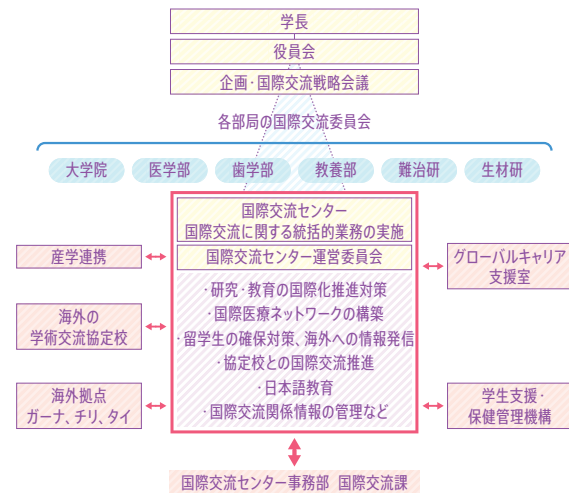
●(C) 医学・歯学教育認証制度等の実施			
歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究 新潟大学、九州歯科大学、東京歯科大学、大阪歯科大学と連携	事業推進責任者	医歯学教育システム研究センター 荒木 孝二 教授	
看護師の人材養成システムの確立 Development of Human Resource System for Nurses			
看護職IKASHIKAキャリアパスの開発	事業推進責任者	医学部附属病院 小牟田 智子 看護部長	
研究関係プログラム			Research Program
研究大学強化促進事業 Program for Promoting the Improvement of Research Universities			
東京医科歯科大学 研究大学強化促進事業	実施責任者	理事(研究担当)・副学長 森田 育男	
感染症研究国際ネットワーク推進プログラム Japan Initiative for Global Research Network on Infectious Diseases (J-GRID)			
西アフリカ地域の研究拠点を核とした感染症研究の戦略的展開	事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科 太田 伸生 教授	
地球規模課題対応国際科学技術協力事業 Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development (SATREPS)			
ガーナ由来薬用植物抽出物による抗ウイルス及び抗寄生虫活性候補物質の研究プロジェクト	事業推進責任者	大学院医歯学総合研究科 山岡 昇司 教授	
再生医療実現拠点ネットワークプログラム Research Center Network for Realization of Regenerative Medicine			
●疾患・組織別実用化研究拠点（拠点B）			
培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する粘膜再生治療の開発拠点	拠点長	大学院医歯学総合研究科 渡辺 守 教授	
●技術開発個別課題			
iPS細胞・体性幹細胞由来再生医療製剤の新規品質評価技術法の開発	代表研究者	大学院医歯学総合研究科 森尾 友宏 准教授	
●再生医療の実現化ハイウェイ（【課題B】中長期で臨床研究への到達を目指す再生医療研究）			
滑膜幹細胞による膝半月板再生	代表研究者	再生医療研究センター長 関矢 一郎 教授	

研究関係プログラム				Research Program	
最先端・次世代研究開発支援プログラム Funding Program for Next Generation World-Leading Researchers (NEXT Program)					
看護卒後教育によるmid-level provider育成と医療提供イノベーション			取組責任者	大学院保健衛生学研究科長 井上 智子 教授	
組織幹細胞に着目した毛包の組織老化メカニズムの解明			取組責任者	難治疾患研究所 西村 栄美 教授	
脳科学研究戦略推進プログラム Strategic Research Program for Brain Sciences					
● 社会的行動を支える脳基盤の計測・支援技術の開発研究開発拠点整備事業（課題D）					
統合失調症の分子異常に対する発達神経科学的解析法の構築と評価技術の開発			研究者	大学院医歯学総合研究科 西川 徹 教授	
● 心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子研究開発拠点事業（課題E）					
生涯に亘って心身の健康を支える脳の分子基盤、環境要因、その失調の解明					
拠点長	大学院医歯学総合研究科 水澤 英洋 教授	研究者	難治疾患研究所 田中 光一 教授	研究者	難治疾患研究所 岡澤 均 教授
● 生命倫理等に関する課題の解決に関する研究					
カウンセリング手法を用いた脳研究倫理課題の解決支援			研究者	医学部附属病院 藍 真澄 教授	
日中韓フォーサイト事業 A3 Foresight Program					
胃がん発症におけるエピジェネティック変化の関与					
研究代表者	大学院医歯学総合研究科 湯浅 保仁 教授	中国側研究代表者	北京大学腫瘍学院 Deng Dajun 教授	韓国側研究代表者	ソウル国立大学医学部 Kim Woo Ho 教授
研究拠点形成事業 Core-to-Core Program					
● A. 先端拠点形成型					
難治疾患に対する分子標的薬創製のための国際共同研究拠点の構築			拠点機関	東京医科歯科大学 研究・産学連携推進機構	
			拠点機関 コーディネーター	生体材料工学研究所 影近 弘之 教授	
頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム Strategic Young Researcher Overseas Visits Program for Accelerating Brain Circulation					
器官の恒常性維持とその破綻機序解明のための国際共同研究拠点の構築			主担当研究者	大学院医歯学総合研究科 佐々木 成 教授	
バクテリア感染に関する共同研究による医歯工融合分野の国際的若手リーダーの育成			主担当研究者	生体材料工学研究所 宮原 裕二 教授	

戦略的創造研究推進事業チーム型研究（クレスト） JST Strategic Basic Research Programs (CREST)	
研究課題名	代表研究者
新たなアレルギー発症機構の解明とその制御	大学院医歯学総合研究科 烏山 一 教授
RNA階層における炎症の時間軸制御機構の解明	大学院医歯学総合研究科 浅原 弘嗣 教授
キメラ2本鎖核酸の臨床応用のための分子技術の開発	大学院医歯学総合研究科 横田 隆徳 教授
シナプス—グリア—D-セリン系の分子機構解明と統合失調症における病態解析および修復法創出	大学院医歯学総合研究科 西川 徹 教授
粘膜組織における免疫寛容構築メカニズムの解明、疾患治療技術の開発	難治疾患研究所 樗木 俊聡 教授
プルキンエ細胞変性の分子病態に基づく診断・治療の開発	大学院医歯学総合研究科 水澤 英洋 教授
糖鎖、蛋白質、及び遺伝子解析バイオトランジスタの創製	生体材料工学研究所 宮原 裕二 教授
転写障害・DNA損傷修復障害を標的とした治療開発	難治疾患研究所 岡澤 均 教授
シナプス—グリア機能連携の分子機構とD-セリンおよびグルタミン酸シグナルの役割の解明	難治疾患研究所 田中 光一 教授
エピゲノム創薬を指向した低分子化合物の合成	生体材料工学研究所 細谷 孝充 教授
関節リウマチほか膠原病における線維芽細胞活性化機序に関する研究	大学院医歯学総合研究科 上阪 等 教授

その他のプログラム	
Other Programs	
日本の医療機器・サービスの海外展開に関する調査事業	
日本式大腸がん検診システム普及プロジェクト	総括事業代表者 大学院医歯学総合研究科 江石 義信 教授
産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業（モデル実証事業）	
医療の見える化（ビジュアライズド・メディスン）による低侵襲医療の実現	事業実施責任者 産学連携研究センター長 飯田 香織里 教授
産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業（モデル構築事業）	
産学連携活動の評価制度（PDCAサイクル）のモデル構築	事業実施責任者 産学連携研究センター長 飯田 香織里 教授

国際交流センターは、2009年4月1日、これまでの「留学生センター」を改組し、新たにスタートしました。これまでも、本学と海外の教育研究機関との間で多くの学術・学生交流協定が締結されてきましたが、それらは各部局単位で実施されていたこともあり、全学的な情報把握が十分でない点もあったため、「国際交流センター」が本学の国際交流と帰国留学生に関する情報を一括して管理することを始めました。本学が目指す研究・教育を推進するためには、世界中から優秀な人材を積極的に獲得することも必要であり、その取組の一つとして2009年より国際サマープログラムを開催しています。こうした取組の成果もあって、参加者の中から本学大学院博士課程に入学する者も増えてきました。2012年には、グローバルキャリア支援室を設置するなど、本学の国際化推進に関わる事業を中心となって実施・支援してまいります。



ガーナ・野口記念医学研究所 共同研究センター

Ghana-Tokyo Medical and Dental University
Research Collaboration Program

アフリカとの医学交流ゲートを目指して

ガーナは野口英世が研究の途上、黄熱病を得て死亡した地であり、野口が遺した様々な思いとガーナの人々の野口に寄せる敬愛とが日本とガーナの医学交流の礎となりました。野口記念医学研究所共同研究センターも発足から6年目を迎えて、医学交流活性化のために期待がさらに高まっています。

ガーナ共同研究拠点ではアフリカの問題としてHIV/AIDSのモニタリングや分子進化、NTD（顧みられない感染症）としてのアフリカ睡眠病、マラリア対策への応用を目指した遺伝子改変ハマダラカ研究などを井戸栄治、鈴木高史両特任教授を派遣して進めてきました。2012年度からは蚊媒介性感染症も研究テーマに加えました。ウイルス性出血熱の多くは蚊が媒介しますので、現地の殺虫剤耐性蚊を実態調査するとともに、ガーナのウイルス性出血熱、特にラッサ熱

や黄熱の疫学研究にも取り組みました。野口英世が斃れた黄熱の問題に再び私たちが取り組むことには大きな感慨があります。

本拠点には日本の医学研究をガーナ側に、またガーナの研究情報を日本側に紹介する責務があります。2013年にはアジア・アフリカ研究フォーラムを開催し、アフリカの感染症を中心テーマとした討議を通じて大きな成果が上がりました。一方、本学医学部学生がプロジェクトセメスター期間に野口研に滞在してアフリカの医療問題を体験するプログラムも定着し、感染症の問題をon-siteで経験できることは学生のモチベーション発掘の機会となっています。

この共同研究拠点が日本とガーナの双方向性交流のゲートとなり、研究と人材育成が推進されるように努力を継続していきたいと思います。



Asian-African Research Forum 2013の開催



阿部俊子・外務大臣政務官の野口研訪問時に医学部学生と懇談

チリ国における東京医科歯科大学 ラテンアメリカ共同研究拠点の活動

Latin American Collaborative Research Center (LACRC)
Tokyo Medical and Dental University, Santiago, Chile

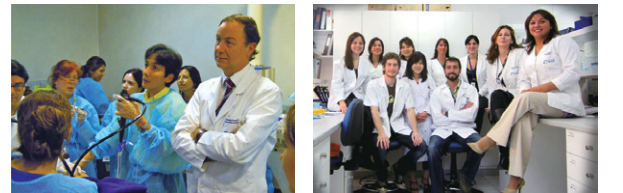
大腸癌の早期発見・治療をめざす南米諸国の国家プロジェクトを支援

大腸癌死亡率の急激な増加に悩むチリ国の要請を受けて、2009年7月チリ保健省並びにチリ大学先端研修病院であるクリニカラスコンデス（CLC）と三者による協定を締結しました。さらに、南米地域において広く教育・研究・国際貢献を展開する目的で2010年4月チリに研究拠点（LACRC）を開設し、現在本学教員3名（病理医・内視鏡医、分子生物学研究者）が拠点活動を行っています。LACRCではプロジェクト推進に向けて、環境整備や大腸癌診断・治療の標準化、大腸内視鏡医の育成に取り組んでいます。2013年には、サンティアゴ・バルパライソ・プンタアレナス・ラセレナの4都市で1万9000人を対象とした大腸癌スクリーニングが実施される段階に入りました。国立サンボルハ病院にある日智消化器病研究センターでは、チリ保健省の支援で内視鏡研修施設が開設され、本学とCLC教員の指導のもと若手内視鏡医や病理医の育成が行われています。

2012年からは、チリ国内にとどまらず、エクアドルでも同国保健省と本学との協定の下、首都キトにあるパプロアルトゥールスアレス国立病院において同様のプロジェクトが始まっており、LACRCから本学教員がキトを訪問し実地指導にあたっています。また、日本から派遣された本学教授陣らがチリからの帰路にキトを訪問し、現地医師を集めた保健省主催の研修会で日本式技術と知識の普及に努めています。最近では、パラグアイ大統領から直々の要請があり、2013年6月からチリCLCと本学が協力してパラグアイ保健省が進める国家プロジェクトを支援しています。

これら一連のプロジェクトは、本学の教育の場としても生かされています。2010年からはプロジェクトセメスター期間の医学部4年次の学生を5ヶ月間にわたってチリの研究機関へ派遣することも開始され、これまでに18人の学生がチリ大学やCLCで研究体験をしています。

左: チリ保健省・CLC・本学との
三者協定締結の様子
中: CLC院内で大腸内視鏡
指導にあたる本学教員
右: 本学学生とCLC大腸癌遺
伝子研究センター職員



チュラロンコーン大学 ——東京医科歯科大学研究教育協力センター

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center

タイの在留邦人を対象とした「第1回海外公開講座」を開催

2012年9月9日、バンコクのインペリアルクィーンズパークホテルにおいて、「第1回海外公開講座 歯の健康セミナー・健康相談会」を開催しました。この事業は、CU-TMDU 研究教育協力センターの活動の一環として企画し、JDAT（日本の歯科大学で学位を取得したタイ人歯科医師同窓会）の支援を得て実施したもので、今回はバンコクにある日本人学校の児童生徒と保護者を対象としました。チュラロンコーン大学において歯科研修プログラムに参加していた10名の本学歯学部4年生（歯学科・口腔保健学科）も本事業に協力しました。健康セミナーは、大山喬史学長による挨拶の後、森尾郁子教授（国際交流センター長）からCU-TMDUセンター設置の経緯、現在のプロジェクト、今後の展望等についての説明に続き、本学の8名の教員がそれぞれの専門領域に関する歯科のテーマについて講演を行いました。

健康相談会も同時に開催し、本学の歯科医師とJDATのタイ人歯科医師がペアとなって、相談に訪れた合計75名の在留邦人に対して、専門的立場から歯の悩みや不安に個別に対応しました。このような活動を継続し、在留邦人を対象にさまざまな健康情報を提供していくことが、今後のCU-TMDU 研究教育協力センターの重要な役割の一つです。



海外公開講座で挨拶される大山学長



海外公開講座に参加したTMDUの教員と学生およびJDATのメンバー

世界トップレベルの医療専門職業人および医学・歯学研究者を育成 パートナーズ・ヘルスケア・ インターナショナルとの医学教育提携

Tokyo Medical and Dental University and
Partners International Medical Service, Inc.
Alliance for Medical Education

本学では、平成14年度にHMI（ハーバード・メディカル・インターナショナル、平成20年からPHMI／パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナル、平成24年にPHI／パートナーズ・ヘルスケア・インターナショナルに名称変更）との医学教育提携契約を締結しました。この提携は、世界トップレベルの医師、歯科医師をはじめとした医療専門職業人を育成するとともに、世界をリードする医学・歯学研究者を養成することを目標としています。そして、世界最先端の医学教育方法の研究及び研修のために、ハーバード大学教員を本学へ招聘するばかりでなく、多数の本学教員をハーバード大学に派遣し、教育研修を実施し、着実に成果を上げています。

また、この教育連携の大きな特色として、本学医学部医学科の正規のカリキュラムとして、「ハーバード大学の学生と共に学ぶ臨床実習」が選択コースとして設定されており、年々充実を図り、過去10年間で74名の学生が参加し、大きな成果を上げています。

そして、本提携の高い評価により、平成16年度文部科学省現代GP（補助期間平成16～19年度）に「国際的医療人育成のための先駆的教育体系」が採択、平成20～21年度には特別教育研究経費（文部科学省政策課題対応経費）として「国際性豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成」が措置され、カリキュラム改革等の推進に積極的に取り組んでいます。

本提携のもとでの活動は広範囲におよび、学生派遣（6年

次3ヶ月の臨床実習、平成25年度10名）のほか、下記を行っています。

1. テレビ会議

同提携をもととした本学における教育カリキュラム改革および評価改善案について、テレビ会議システムを利用して米国PHIと定期的協議を実施し、進捗状況確認および検討を継続的に行っています。

2. 教員派遣

毎年実施されており、平成14～24年度の11年間で、延べ130名（医学部102名、歯学部25名、教養部3名）の本学教員がボストンに派遣され、ハーバード大学医学部および歯学部における教育調査および研修（5～10日間）を行いました。

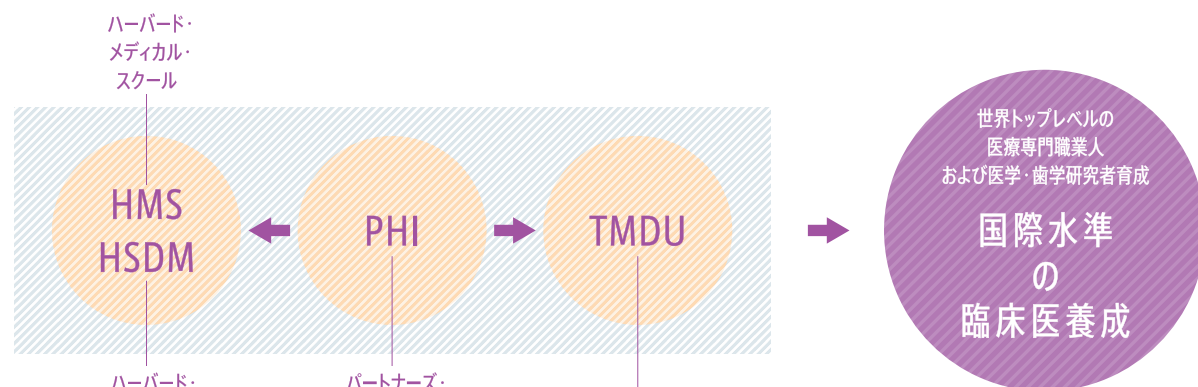
および

3. ハーバード大学医学部教員を招聘した教員研修会

全学規模で平成12年より5回、医学科のみで平成13年より12回実施され、本学教員延べ1,176人が参加しました。

このような多段階、多様な提携の結果として、本学の教育カリキュラムの充実化および世界標準化が図られました。特に、ハーバード大学での臨床実習に参加した学生の提言にもとづき、派遣教員が中心になって改革が進められた医学臨床実習は、現在日本における卒前医学臨床実習のなかで最も充実したカリキュラムであるとの高い評価を受けており、日本の多くの医学教育機関から見学希望が寄せられています。

概念図



世界トップレベルの医師・医学研究者を育成するために インペリアルカレッジとの 交換留学プログラム

Student exchange programme between Faculty of Medicine,
Graduate School, Tokyo Medical and Dental University and
Faculty of Medicine,
Imperial College of Science Technology and Medicine

本学では、平成16年度にインペリアルカレッジとの交換留学プログラムを開始しました。本プログラムは、交換留学協定に基づく留学であり、単位互換性で、双方の授業料は免除され、宿泊施設も提供されます。学生は留学生活においてインペリアルカレッジの学生や教員、研究者からきめ細やかなサポートを受けることができます。本プログラムを開始してから8年余りになりますが、貴重な体験が得られるという評価が定着し、双方の大学において人気プログラムとなっています。

インペリアルカレッジはロンドンのサウスケンジントンにある大学です。1907年に創設の医学部、工学部、生命科学部、物理学部の4学部で構成されており、これに加えてビジネススクールも併設されています。英国内での大学ランキングでは2～4位、全世界でもトップ10の常連に位置する非常に優秀な大学です。

【留学状況】

1. 本学からインペリアルカレッジへの留学

医学科第4学年の自由選択学習（プロジェクトセメスター）の期間（10月～2月末）、毎年4名程度延べ32名が留学しています。具体的には、インペリアルカレッジから本学学生のために用意された12～24程度の研究課題の中から興味ある課題を選択し、指導教員の下、実際の医学研究に従事

します。科学的探求における基本的な考え方や、必要な情報の集め方、論理的・科学的思考などのアプローチの修得、様々な文化・価値観を背景にもつ指導教員や研究室員との交流と人脈構築、英語の語学力だけでなく筋道だった議論・論述能力の養成、さらに、英国文化に触れ、世界中の勤勉な学生と関わり刺激を受けるなど、日本にいてはなかなか得られない経験ができる貴重な機会です。

2. インペリアルカレッジから本学への留学

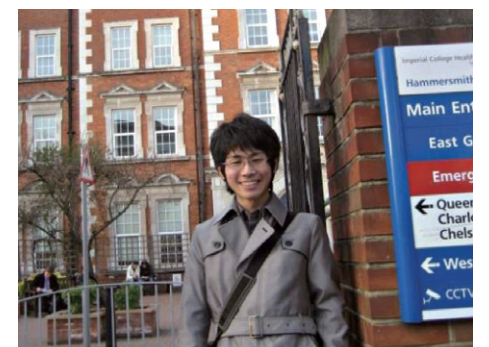
インペリアルカレッジではカリキュラムの一環として3ヶ月間の研究期間が設けられており、その期間の選択プログラムとして本交換留学プログラムがあります。実績としてはBSc (Bachelor of Science) コースの一環として医学部4年生が毎年4～5名、2月中旬より3ヶ月に渡り来日し、これまで延べ36名を受け入れました。本交換留学プログラム参加者は、本学医歯学総合研究科の約20分野が各々1～3課題ずつ提供する研究課題の中から興味ある課題を選択し、3ヶ月間研究に従事します。インペリアルカレッジの学生にとっては、本プロジェクトにおいて科学的探求の考え方とアプローチを学ぶだけでなく、お花見や古都巡りなど、様々な日本文化に触れる充実した3ヶ月であるとして、インペリアルカレッジ学生の間でも非常に人気の高いプログラムだそうです。

左上：平成22年度受入学生
及び指導教員

左下：大山学長と
平成22年度受入学生

右上：平成22年度派遣学生

右下：平成22年度派遣学生



本学を広く世界にアピールするとともに、
アジアの優秀な外国人留学生を確保する場として

国際サマープログラム

本学を広く世界にアピールするとともに、優秀な若い人材を惹きつけることを目的として、平成21年度から「国際サマープログラム」(International Summer Program, ISP)を実施しています。海外からの招聘講師と本学でその年のテーマに関連する研究を牽引する研究者からなる講師陣による講義や国際シンポジウム、招聘者と本学大学院生によるポスター発表などを行ってきました。

第4回となるISP2012は「脳と心——神経科学の最先端」をテーマとして、平成24年8月26日～29日に開催しました。水澤英洋教授を座長としたISP2012ワーキンググループの各委員ならびに学内外の講師の先生方のご協力のもとに、無事に実施することができました。

第4回の参加応募者は、アジア16カ国・地域から68名に上り、選考の結果10カ国・地域、24名を招聘し実施しました(下表参照)。

第4回までの招聘参加者の中には、すでに本学の大学院博士課程に入学した方もいます。第3回以降は優秀な留学生獲得のために、将来の指導教員との面談を含めた研究室

International Summer Program, ISP

訪問の時間を豊富に取るなどの改善を加えました。夏季期間中にも関わらず学内の先生方には熱心に訪問学生に対応していただきました。また、希望する招聘学生を対象に大学院特別選抜入試を実施し、3名が合格しました。

第5回となるISP2013は、「生体材料とその応用」をテーマに平成25年8月26日～29日に開催し、生体材料工学研究所の高久田和夫教授を座長とし、さらに招聘参加者と本学教員・学生とのより密度の高い相互交流が可能となるプログラムを目指しました。また、8月30日には大学院博士課程ISP 特別選抜入試を実施しました。

ISP2012国別招聘者数

国・地域	応募者			招聘者		
	男	女	総計	男	女	総計
ベトナム	3	5	8	2	1	3
中国	7	9	16	3	4	7
バングラデシュ	4	1	5	1		1
タイ	1	10	11		5	5
ネパール	2	1	3			0
マレーシア	1	1	2	1		1
スリランカ		1	1			0
インド	3	2	5	2	1	3
モンゴル		1	1			0
韓国	1	4	5		1	1
カンボジア	2	2	4			0
ミャンマー	1	1	2		1	1
インドネシア		1	1			0
台湾	1		1	1		1
ラオス	2		2	1		1
トルコ		1	1			0
合計	28	40	68	11	13	24



交流会での集合写真
(M&Dタワー 26階ファカルティラウンジ、平成24年8月28日)

ISP2009	応募者: 15カ国・地域 招聘者: 11カ国・地域	76名 35名
ISP2010	応募者: 16カ国・地域 招聘者: 14カ国・地域	96名 26名
ISP2011	応募者: 16カ国・地域 招聘者: 14カ国・地域	69名 23名

海外研修奨励制度

平成24年度

東京医科歯科大学 海外研修奨励制度 実績

所属	派遣先	人数
医学部医学科 4学年	アメリカ合衆国 ・Beckman Research Institute of City of Hope ・カリフォルニア大学	3名
	オランダ王国 ・アムステルダム大学 アカデミックメディカルセンター	
医学部 保健衛生学科 3学年	フィンランド共和国 ・セイナヨキ応用科学大学	4名

豊かな感性と国際性を持つ人材の育成に役立てるために、心身共に健全にして学業優秀と認められるとともに、海外研修に意欲を有する学部学生を対象として、海外研修の機会を提供する制度です。この制度は平成14年から始まり、これまで66名(平成24年度は12名)の学生がこの制度にて海外へ留学しています。

所属	派遣先	人数
歯学部歯学科 6学年	アメリカ合衆国/カナダ ・カリフォルニア大学サンフランシスコ校 及びマギル大学	3名
4学年	アメリカ合衆国 ・ハーバード大学歯学部 及びペンシルバニア大学歯学部 ・ハーバード大学	
歯学部 口腔保健学科 4学年	フィンランド ・メトロポリア応用科学大学	2名
3学年	スウェーデン王国 ・マルメ大学及びカールスタッド大学	

大学院学生研究奨励賞

所属研究分野において優れた研究活動を行い、評価の高い成果を挙げ、将来研究者としての活躍が期待できる大学院生を対象として、世界をリードする研究者、研究心旺盛な高度専門医療人の育成に役立てることを目的として、その業績を顕彰するために平成23年に設けられました。奨励賞の被授与者には、海外研修の機会を提供しています。

平成24年度 東京医科歯科大学

大学院学生研究奨励賞 実績

所属	派遣先
大学院 医歯学総合 研究科	アメリカ合衆国 ・Salk Institute for Biological Studies ・University of Minnesota ・University of Pennsylvania ・Harvard Medical School
	オーストラリア連邦 ・Australian National University
大学院 保健衛生学 研究科	アメリカ合衆国 ・University of Alabama
	チリ共和国 ・University of Chile

自由選択学習(プロジェクトセメスター)を利用した海外留学

主な講義・試験及び基礎実習を終えた医学部医学科4年次後期の5ヶ月間において、興味を持った分野について集中的に学ぶことにより、科学的視点を有する医師としての基盤を養成することを目的としている研究コースであり、このコースでは、本学内の諸講座や他機関のほか、国際交流協定校のインペリアルカレッジ(英国)、クリニカ・ラスコンデス(チリ)、ガーナ大学野口記念医学研究所(ガーナ)、チュラロンコーン大学(タイ)における海外研修の機会があります。

平成24年度

プロジェクトセメスター海外留学実績

インペリアルカレッジ (英国)		4名
チリ大学/クリニカ・ラス・コンデス (チリ共和国)		6名
チュラロンコーン大学 (タイ王国)		2名
ガーナ大学野口記念医学研究所 (ガーナ共和国)		5名
他、アメリカ合衆国、 オーストラリア、大韓民国等		19名

パートナーズ・ヘルスケア・
インターナショナルとの医学教育提携

アメリカ合衆国

・パートナーズ・ヘルスケア・インターナショナル

国際交流協定 / 学部等協定

大学院医歯学総合研究科 (医学系)・大学院保健衛生学研究科・医学部

フィンランド共和国

・セイナヨキ応用科学大学
・タンペレ大学看護学科

アメリカ合衆国

・ワシントン大学看護学部
・コロラド大学デンバー校看護学部

イギリス

・インペリアル・カレッジ医学部
・シェフィールド大学看護・助産学科

タイ王国

・チュラロンコーン大学医学部

カザフスタン

・S.D. アスフェンディヤロフカザフ国立医科大学

国際交流協定 / 大学間等協定

タイ王国

・チュラロンコーン大学

チリ共和国

・クリニカ・ラス・コンデス病院
とチリ国保健省

エクアドル

・エクアドル保健省

生体材料工学研究所

イギリス

・ストラスクライド大学
バイオエンジニアリングユニット
・ロンドン大学
クイーンメアリー・アンド・
ウエストフィールド校
生体医用材料総合研究センター

スウェーデン王国

・リンシェピン大学医用生体工学科

ポーランド共和国

・ポーランド科学アカデミー
バイオサイバネティクス・
生体工学研究所ならびにバイオ
サイバネティクス国際センター

大韓民国

・慶北大学校生体材料研究所

中華人民共和国

・北京大学口腔医学院

難治疾患研究所

シンガポール共和国

・国立シンガポール大学
腫瘍研究所

大韓民国

・ソウル国立大学
分子生物学・遺伝学研究所

タイ王国

・チュラロンコーン大学歯学部

フランス共和国

・リヨン高等師範学校

大学院生命情報科学教育部・
難治疾患研究所

ポーランド共和国

・グダニスク医科大学

ドイツ連邦共和国

・ドイツリウマチ疾患
研究センター
・フンボルト大学
・ハイデルベルグ大学
生命情報学部
・フライブルグ大学

イギリス

・ダンディー大学
・グラスゴー大学大学院
生命医学研究科

中華人民共和国

・北京協和医学院
・中国医科大学
・上海センター

ベトナム社会主義共和国

・ハノイ医科大学

外国人留学生在籍者数

平成 25 年 5 月 1 日現在 (May, 1, 2013)

国名・地域	大学院生					学部学生			大学院研究生		日本語研修生	小計		計				
	医歯学 総合研究科		保健衛生学 研究科		生命情報科学 教育部	医学部		歯学部		医歯学総合 研究科	保健衛生学 研究科	国際交流 センター	国費		私費			
アジア	韓国		2				1		1					2	2	4		
	中国	19	52			3	2	3		4		8	1		22	70	92	
	モンゴル	2	1				1							1	3	2	5	
	フィリピン	3													3	0	3	
	インドネシア	2													2	0	2	
	シンガポール					1									1	0	1	
	ベトナム	3	1								1				3	2	5	
	カンボジア	2													2	0	2	
	マレーシア		2												0	2	2	
	タイ	15	1								1				15	2	17	
	ミャンマー	2	5								3		1	3	8		11	
	ネパール	2	3												2	3	5	
	バングラデシュ	9	4												9	4	13	
	インド	2	2												2	2	4	
	スリランカ	1	1												1	1	2	
	ヨルダン	2													2	0	2	
サウジアラビア		6												0	6	6		
イエメン	2											2	4	0		4		
台湾		6					1			1				0	8	8		
アラブ首長国連邦												1	1	0		1		
ヨーロッパ	ベラルーシ	1													1	0	1	
	トルコ					1									1	0	1	
	ポーランド		1												0	1	1	
アフリカ	エジプト	2				1				1					2	2	4	
	タンザニア	1													1	0	1	
	ガーナ	1													1	0	1	
	スーダン	1													1	0	1	
アメリカ	カナダ					1	1								1	1	2	
	ブラジル	1									1				1	1	2	
	ホンジュラス	1													1	0	1	
	ベネズエラ	1													1	0	1	
	ペルー		1												0	1	1	
小計	75	88	0	0	6	5	1	4	1	4	0	16	0	1	5	88	118	206
合計	国費		私費		国費		私費		国費		私費		国費					
	81		93		2		8		0		17		5		206			
					174				10				17		5			

* 赤色は、私費留学者数を外数で示す。

学生数（学部）

医学部															平成25年5月1日現在（May, 1, 2013）									
		入学定員	収容定員	学年												計								
				第1		第2		第3		第4		第5		第6										
医学科		101 〔5〕	581	103	30	117 (5)	36 (2)	105 (3)	33 (1)	97 〔5〕	31	92 〔5〕	30 〔1〕	87 〔8〕	30 〔1〕	601 (8) 〔18〕	190 (3) 〔2〕							
保健衛生学科	看護学専攻	55	220	55	53	57	57	58	55	54	50					224	215							
	検査技術学専攻	35	140	36	29	40	34	37	28	35	31					148	122							
	小計	90	360	91	82	97	91	95	83	89	81					372	337							

歯学部															平成25年5月1日現在（May, 1, 2013）		
		入学定員	収容定員	学年												計	
				第1		第2		第3		第4		第5		第6			
歯学科		53	334	56	29	59	22	48	24	58 [1]	23 [1]	53 [1]	22	60 [8]	29 [5]	334 [10]	149 [6]
口腔保健学科		22 <6>	105	25	25	23	22	26 [5]	25 [5]	32 [6]	32 [6]					106 [11]	104 [11]
口腔保健衛生学専攻																	
口腔保健工学専攻		10 [5]	45	11	8	16 (5)	11 (2)	14 (5)	6 (2)	0	0					41 (10)	25 (4)
小計		32	150	36	33	39	33	40	31	32	32					147	129

平成25年5月1日現在 (May, 1, 2013)																
	入学定員	収容定員	学年										計			
			第1	第2		第3		第4		第5		第6				
合計	276	1,425	286	174	312 (10)	182 (4)	288 [5] (8)	171 [5] (3)	276 [12]	167 [7]	145 [6]	52 [1]	147 [16]	59 [6]	1,454 [39] (18)	805 [19] (7)

*注1 赤色は、女子学生を内数で示す。
*注2 < >内は、3 年次編入学定員を外数で示す。
*注3 []内は、2 年次編入学定員を外数で示す。
*注4 []内は、3 年次編入学生を内数で示す。
*注5 ()内は、2 年次編入学生を内数で示す。

学位授与数

課程博士											平成25年5月1日現在（May, 1, 2013）	
	博士											
	医学	歯学	学術	看護学	保健学	バイオ情報学	高次生命科学	生命情報科学	理学	工学		
平成24年度	103	91	8	9	3	1	2	2	15	1		
累計	1,944	2,127	149	93	52	2	3	4	80	3		

論文博士						平成25年5月1日現在（May, 1, 2013）	
	博士						
	医学	歯学	学術	看護学	保健学		
平成24年度	3	3	0	2	1		
累計	1,755	511	23	24	14		

課程修士													平成25年5月1日現在（May, 1, 2013）	
	修士													
	医科学	歯科学	医療管理学	医療政策学	看護学	保健学	バイオ情報学	高次生命科学	生命情報科学	理学	工学	学術		
平成24年度	48	3	5	9	21	12	2	1	3	36	1	0		
累計	410	15	70	79	299	244	14	4	10	281	8	2		

附属教育施設

生徒数		平成25年5月1日現在（May, 1, 2013）			
	学年			計	
	第1	第2			
歯科技工士学校（実習科）		6	3	6	3

*平成24年度募集終了、平成26年度廃止予定
*赤色は、女子学生を内数で示す。

平成25年度科学研究費助成事業採択状況

平成25年5月1日現在 (May, 1, 2013)		
	件数	金額 (千円)
特定領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas	0	0
挑戦の萌芽研究 Grant-in-Aid for Challenging Exploratory Research	77	130,650
若手研究 (A) Grant-in-Aid for Young Scientists (A)	8	79,690
若手研究 (B) Grant-in-Aid for Young Scientists (B)	156	264,940
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellow	24	22,400
基盤研究 (S) Grant-in-Aid for Scientific Research (S)	3	103,870

平成25年5月1日現在 (May, 1, 2013)		
	件数	金額 (千円)
基盤研究 (A) Grant-in-Aid for Scientific Research (A)	10	126,360
基盤研究 (B) Grant-in-Aid for Scientific Research (B)	62	342,550
基盤研究 (C) Grant-in-Aid for Scientific Research (C)	191	317,070
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	6	8,060
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	36	429,520
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	4	2,400
合計 Total	577	1,827,510

受託研究費等受入状況 (平成24年度)

	件数	金額 (千円)
受託 (委託) 研究費 (うち複数年契約によるもの) Entrusted Research	135 (37)	1,606,183 (102,494)
共同研究費 (うち複数年契約によるもの) Cooperative Research	178 (102)	282,858 (73,256)
奨学寄附金 Donation for Promotion of Learning	853	1,341,932
合計 Total	1,166	3,230,973

*複数年度契約とは、研究期間が平成23年度を含み、2年度以上にまたがるものであり、当該23年度に受け入れた金額 (件数も1件としてカウント) を積算したものです。

平成25年度厚生労働科学研究費補助金採択状況

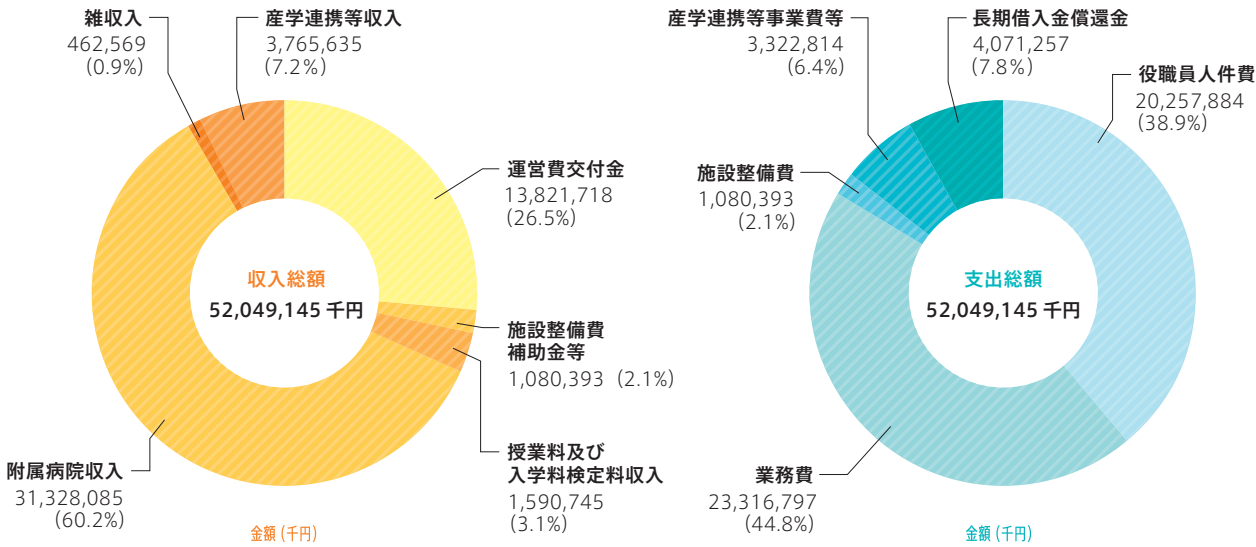
平成25年5月1日現在 (May, 1, 2013)		
	件数	金額 (千円)
政策科学推進研究事業 Research on Policy Planning and Evaluation	1	40,000
統計情報総合研究事業 Research on Statistics and Information	1	2,100
再生医療実用化研究事業 Research on Regenerative Medicine for Clinical Application	1	41,600
地球規模保健課題推進研究事業 Research on Global Health Issues	3	21,022
創薬基盤推進研究事業 Research on New Drug Development	1	52,000
医療機器開発 (ナノテクノロジー等) 総合推進研究事業 Research on Medical Device Development	1	35,100
第3次対がん総合戦略研究事業 Third Term Comprehensive Control Research for Cancer	3	29,000

平成25年5月1日現在 (May, 1, 2013)		
	件数	金額 (千円)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究経費事業 Comprehensive Research on Life-Style Related Diseases including Cardiovascular Diseases and Diabetes Mellitus	1	5,800
難治性疾患等克服研究事業 Research on Rare and Intractable Diseases	12	369,802
障害者対策総合研究事業 Comprehensive Research on Disability Health and Welfare	5	40,908
地域医療基盤開発推進研究事業 Research on Region Medical	4	20,990
健康安全・危機管理対策総合研究事業 Research on Health Security Control	1	4,700
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 Research on Regulatory Science of Pharmaceuticals and Medical Devices	1	5,000
合計 Total	35	668,022

寄附講座・寄附研究部門

平成25年5月1日現在 (May, 1, 2013)		
寄附講座・寄附研究部門名	設置期間	寄附者
大学院医歯学総合研究科	薬害監視学講座	田辺三菱製薬(株) / 武田薬品工業(株) / アッヴィ合同会社 / エーザイ(株) / 中外製薬(株) / プリストルマイヤーズ(株) / アステラス製薬(株) / ユーシービー・ジャパン(株)
	ナノメディスン (DNP) 講座	大日本印刷(株)
	応用腫瘍学講座	大鵬薬品工業(株)
	肝臓病態制御学講座	中外製薬(株) / 東レ(株) / 大日本住友製薬(株) / プリストルマイヤーズ(株) / MSD (株)
	軟骨再生学講座	ジンマー(株) / 京セラメディカル(株)
	消化管先端治療学講座	杏林製薬(株) / 旭化成クラレメディカル(株) / 味の素製薬(株) / ユーシービー・ジャパン(株) / 大塚製薬(株) / エーザイ(株) / (株)JIMRO / ゼリア新薬工業(株) / 田辺三菱製薬(株) / アッヴィ合同会社 / 協和発酵キリン(株)
	整形外科先端治療開発学講座	日本ストライカー(株) / メドトロニックソファモアダネック(株) / HOYA (株) / (株)イトー医科器械 / 帝人ファーマ(株)
	睡眠制御学講座	フクダ電子(株) / 帝人在宅医療(株) / グラクソ・スミスクライン(株) / フィリップス・レスピロニクス合同会社 / (株)さいわいメディックス / テルモメディカルケア(株) / フクダライフテック東京(株)
	小児・周産期地域医療学講座	茨城県
	慢性腎臓病病態治療学講座	バクスター(株) / 大塚製薬(株) / 医療法人真仁会 / 医療法人社団清湘会 / 中外製薬(株)
	臓器代謝ネットワーク講座	塩野義製薬(株)
	関節機能再建学講座	バイオメッド・ジャパン(株) / ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)メディカルカンパニー
	女性健康医学講座	キッコーマン(株)
	先端的外科治療技術研究開発研究部門	ニプロ(株) / エドワーズライフサイエンス(株) / 泉工医科工業(株)
	メタボ先制医療講座	大日本住友製薬(株) / 田辺三菱製薬(株)
	基礎動脈硬化化学講座	一般財団法人動脈硬化研究奨励会

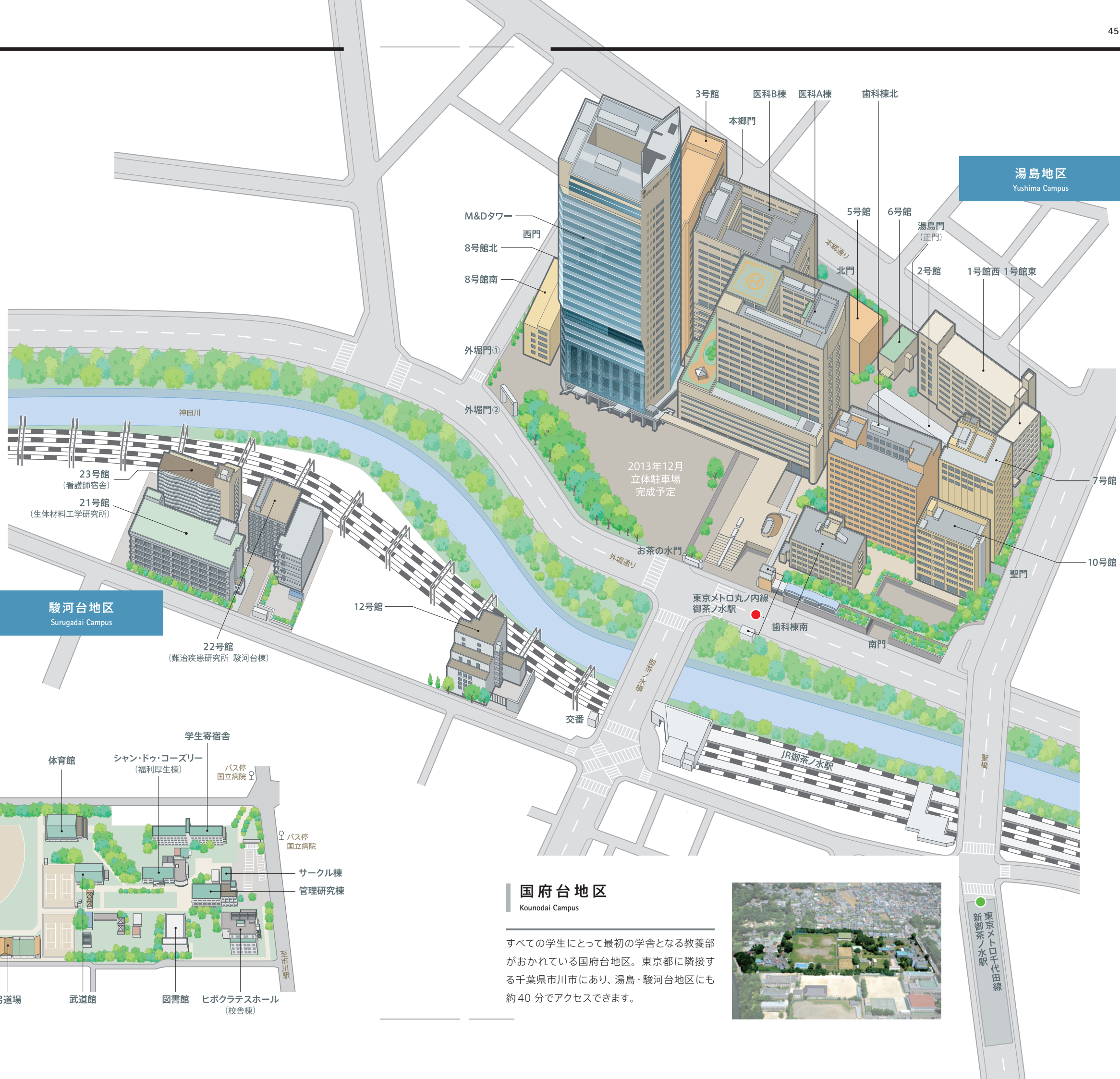
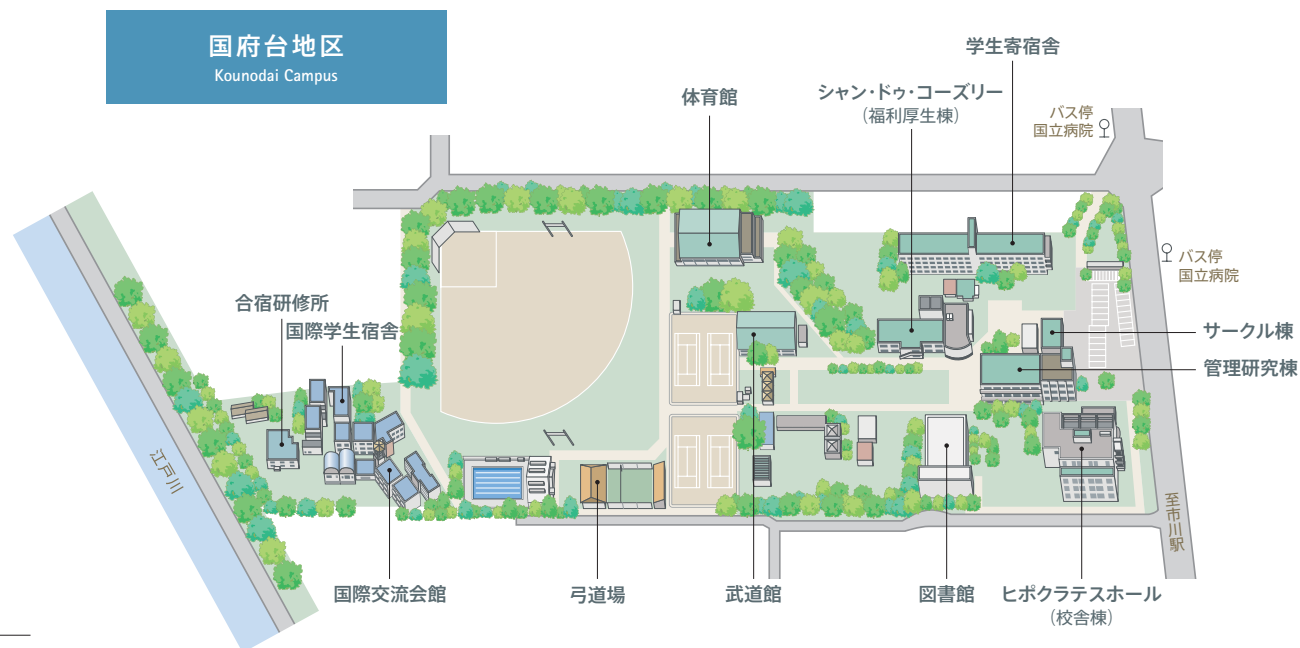
平成25年度収入・支出予算



湯島地区・駿河台地区

Yushima and Surugadai Campuses

東京都心の歴史ある地域に広がる湯島・駿河台地区。研究棟や附属病院が立ち並ぶキャンパスで、高度な知識と技術を持つ医療人を養成するための専門教育が行われます。

駿河台地区
Surugadai Campus国府台地区
Kounodai Campus

国府台地区

Kounodai Campus

すべての学生にとって最初の学舎となる教養部がおかれている国府台地区。東京都に隣接する千葉県市川市にあり、湯島・駿河台地区にも約40分でアクセスできます。



土地・建物及び所在地

平成25年5月1日現在

Location of University Campuses and Buildings (as of May 1, 2013)

湯島地区

Yushima Campus

土地: 45,115m² 建物: 249,646m²
Grounds (sq. Metre) Buildings (sq. Metre)

- ・事務局 Administration Bureau
- ・大学院医歯学総合研究科 Graduate School of Medical and Dental Sciences
- ・大学院保健衛生学研究科 Graduate School of Health Care Sciences
- ・大学院生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

- ・医学部 Faculty of Medicine
- ・医学部附属病院 Medical Hospital

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

- ・歯学部 Faculty of Dentistry
- ・歯学部附属病院 Dental Hospital
- ・歯学部附属歯科技工士学校 School of Dental Technologists

〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

駿河台地区

Surugadai Campus

土地: 5,597m² 建物: 19,912m²
Grounds (sq. Metre) Buildings (sq. Metre)

- ・生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10 03-5280-8000
3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo

- ・難治疾患研究所 Medical Research Institute

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10 03-5280-8050
3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo

		土地 Grounds	建物 Buildings
戸田地区 Toda Boat-House	埼玉県戸田市戸田公園 1-60 60, Todakoen 1 chome, Toda-city, Saitama Prefecture	696m ²	479m ²
妙高高原地区 Akakura Resort House	新潟県妙高市大字赤倉 6120 6120, Akakura, Myoko-city, Niigata Prefecture	1,621m ²	434m ²
館山地区 Tateyama. Oga-Resort House	千葉県館山市大賀 Oga, Tateyama-city, Chiba Prefecture	4,357m ²	834m ²
白山宿舎 Hakusan Residence Housing	東京都文京区白山 2-36-3 36-3, Hakusan 2 chome, Bunkyo-ku, Tokyo	497m ²	91m ²

*土地・建物の () 内数字は、借用又は一時使用面積を外数で示す。

- ・図書館情報メディア機構 Institute for Library and Media information Technology
- ・学生支援・保健管理機構 Student Support and Health Administration Organization
- ・職員健康管理室 Health Administration Office for Employees
- ・研究・産学連携推進機構 Research and Industry-University Alliance Organization
- ・医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry
- ・医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences
- ・実験動物センター Center for Experimental Animal
- ・国際交流センター International Exchange Center
- ・生命倫理研究センター Life Science and Bioethics Research Center
- ・医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education
- ・疾患バイオリソースセンター Bioresource Research Center
- ・再生医療研究センター Center for Stem Cell and Regenerative Medicine
- ・スポーツ医歯学センター Center for Sports Medicine and Sports Dentistry
- ・病院運営企画部 Hospital Administration Planning Division
- ・広報部 Public Relations Division

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

国府台地区

Kounodai Campus

土地: 61,287m² 建物: 13,900m²
Grounds (sq. Metre) Buildings (sq. Metre)

- ・教養部 College of Liberal Arts and Sciences
- ・図書館情報メディア機構
図書館 国府台分館 Institute for Library and Media information Technology-Kounodai Branch Library
- ・保健管理センター分室 Health Administration Center, Kounodai Branch

〒272-0827 千葉県市川市国府台 2-8-30 047-300-7103
8-30, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city,
Chiba Prefecture

- ・国際交流会館 International House
- ・国際学生宿舎 International Student House

〒272-0827 千葉県市川市国府台 2-8-1 047-371-7936
8-1, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city,
Chiba Prefecture

		土地 Grounds	建物 Buildings
若宮町宿舎 Wakamiyacho Residence Housing	東京都新宿区若宮町 26 26, Wakamiya-cho, Shinjuku-ku, Tokyo	995m ²	—
塔の山住宅 Tonoyama Residence Housing	東京都中野区中央 1-50-3 50-3, Chuo 1 chome, Nakano-ku, Tokyo	1,974m ²	1,945m ²
越中島住宅 Etchujima Residence Housing	東京都江東区越中島 1-3 3, Etchujima 1 chome, Koto-ku, Tokyo	17,967m ²	25,480m ²
納骨堂 The Ossuary (Nokotsu-do)	千葉県市川市国府台 3-10-1 10-1, Kounodai 3 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture	(115m ²)	—

計 土地: 140,106m² (115m²) 建物: 312,721m²
Grounds (sq. Metre) Buildings (sq. Metre)

関係施設位置図

Access

湯島キャンパス・駿河台キャンパス

Yushima and Surugadai Campuses

- ・JR 御茶ノ水駅 下車
- ・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 下車
- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 下車

国府台キャンパス

Kounodai Campus

- ・京成線 国府台駅 下車
- ・JR 市川駅 下車
- ・国立病院前 バス停
(北口、バスー番乗場11 系統
松戸駅〈松戸車庫〉行き 10分)

